

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果報告書



岩見沢市教育委員会(岩見沢市立教育研究所)

令和5年(2023年)3月

目

次

<p>I 調査の概要 P 1～P 2 (1 調査の目的 2 調査の対象及び内容 3 調査の実施状況) ■ 用語解説と説明 <標準体重と肥満度判定></p> <p>II 調査結果の概要</p> <p>1 児童生徒の体力 P 3～P 4</p> <p>2 実技に関する調査結果 【小学校】 P 5～P 6 (1) 各種目の記録と体力合計点 (T得点を含む) (2) 実技調査T得点と総合評価 【中学校】 P 7～P 8 小項目【小学校】と同様</p> <p>3 児童生徒の運動時間 (体育の授業を除く。) . . . P 9～P 10</p> <p>4 体格と肥満度に関する調査結果 【小学校】 P 11～P 12 (1) 体格の記録及び肥満度等の出現率 (2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較</p>	<p>【中学校】 P 13～P 14 小項目は【小学校】と同様</p> <p>5 児童生徒質問紙の調査結果 【小学校】 P 15～P 21 【中学校】 P 22～P 28</p> <p>6 学校質問紙の調査結果 【小学校】及び【中学校】 P 29～P 34</p> <p>III 調査結果から P 35～P 38</p> <p>1 体力・運動能力等調査の全体的な傾向</p> <p>2 児童生徒質問紙の特徴的な事項</p> <p>3 改善に向けた取組</p>
---	---

I 調査の概要

1 調査の目的

- 全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象及び内容

<p>(1) 児童</p> <p>① 調査対象者 小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員</p> <p>② 調査内容 ア 実技に関する調査 〈テスト項目〉 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）</p>	<p>(2) 生徒</p> <p>① 調査対象者 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員</p> <p>② 調査内容 ア 実技に関する調査 〈テスト項目〉 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）</p>
<p>(3) 学校</p> <p>① 調査対象者・・・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校</p> <p>② 調査内容・・・質問紙調査（子どもの体力の向上に係る学校の取組等）</p>	

3 調査の実施状況

	参加学校数 (校)			児童生徒数 (人)								
	岩見沢	北海道	全 国	岩 見 沢			北 海 道			全 国		
				男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計	男 子	女 子	合 計
小学校	14	990	19,213	290	274	564	11,066	10,872	21,938	430,429	418,383	848,812
中学校	9	599	10,153	257	290	547	18,561	17,747	36,308	500,670	475,954	976,624
合 計	23	1,589	29,366	545	594	1,139	38,361	36,819	75,180	1,027,923	979,931	2,007,854

■ 用語解説と説明・ ★このファイルに含まれるシートの説明は、「CD の活用法」をご覧ください。性別不明は集計からはずしています。
 体力テスト種目の集計は、種目別に上限値・下限値を超えるデータを集計からはずしています。

体力テスト種目		単 位	体力要素	測 定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に八服跳躍した回数
⑤-1	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
⑤-2	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥	50m走	cm	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ハンドボール投げ	m	巧緻性	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体力テストを全て実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評価した体力の総合評価	

用 語	解 説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値 = 調査結果の総和 / 標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差 = 分散の平方根、分散 = 偏差平方和 / (標本数 - 1)、偏差平方和 = 偏差の平方の総和、偏差 = 調査結果 - 平均値」
T得点	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点 = 50 + 10 × (調査結果 - 平均値) / 標準偏差」

〈標準体重と肥満度判定〉 「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

・標準体重 = a × 身長(cm) - b	・肥満度(%) = [自分の体重(kg) - 標準体重(kg) ÷ 標準体重(kg) × 100]
------------------------	---

標準体重を求める係数

年 齢	男 子		女 子	
	a	b	a	b
12(中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13(中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14(中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥 満 度	判 定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	普通
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

※公立校の全国・都道府県の値は公立校を対象としたもの。(指定都市のある都道府県の値は指定都市を含まない値)

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

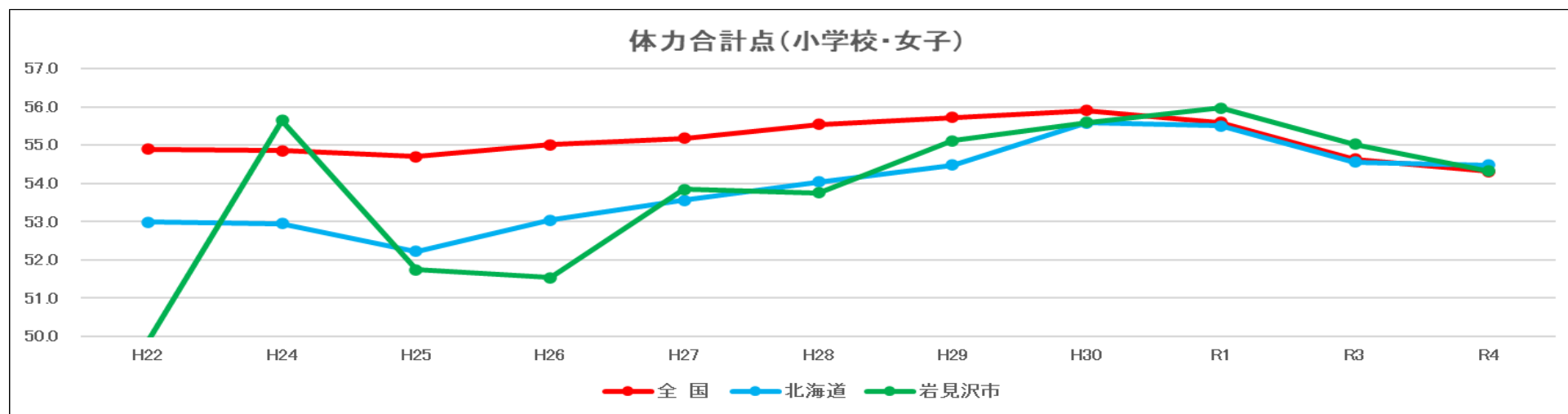
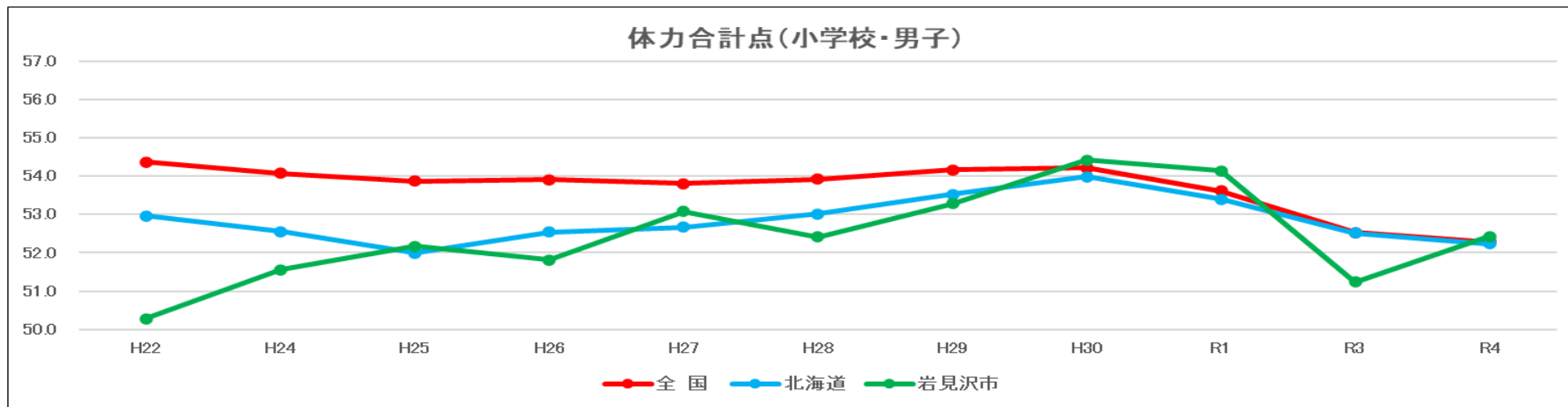
Ⅱ 調査結果の概要

1 児童生徒の体力

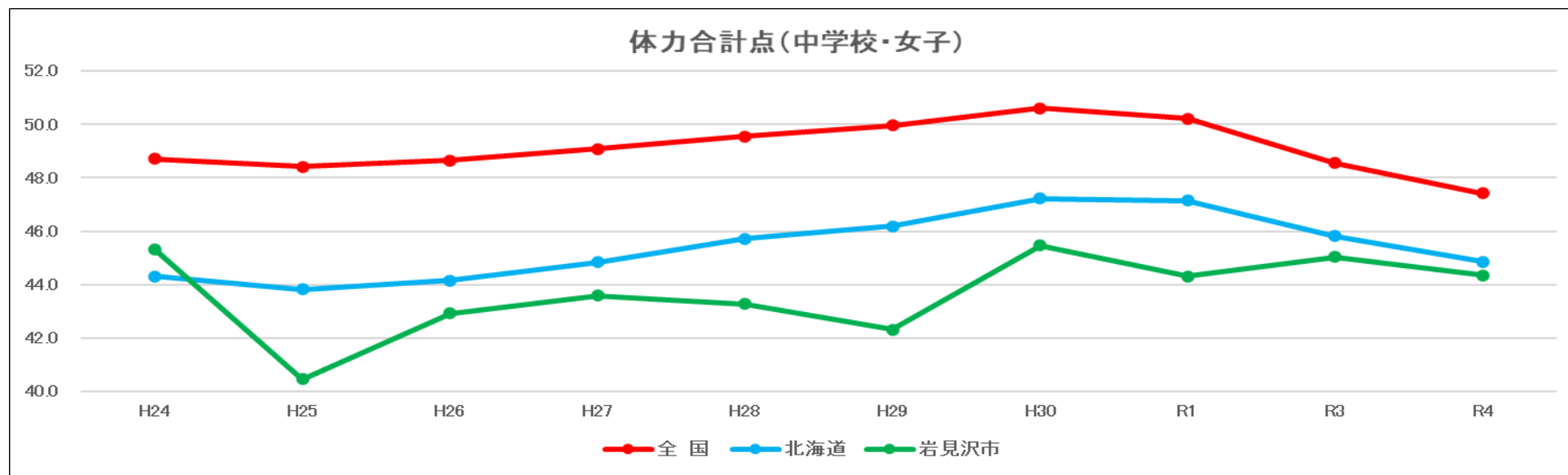
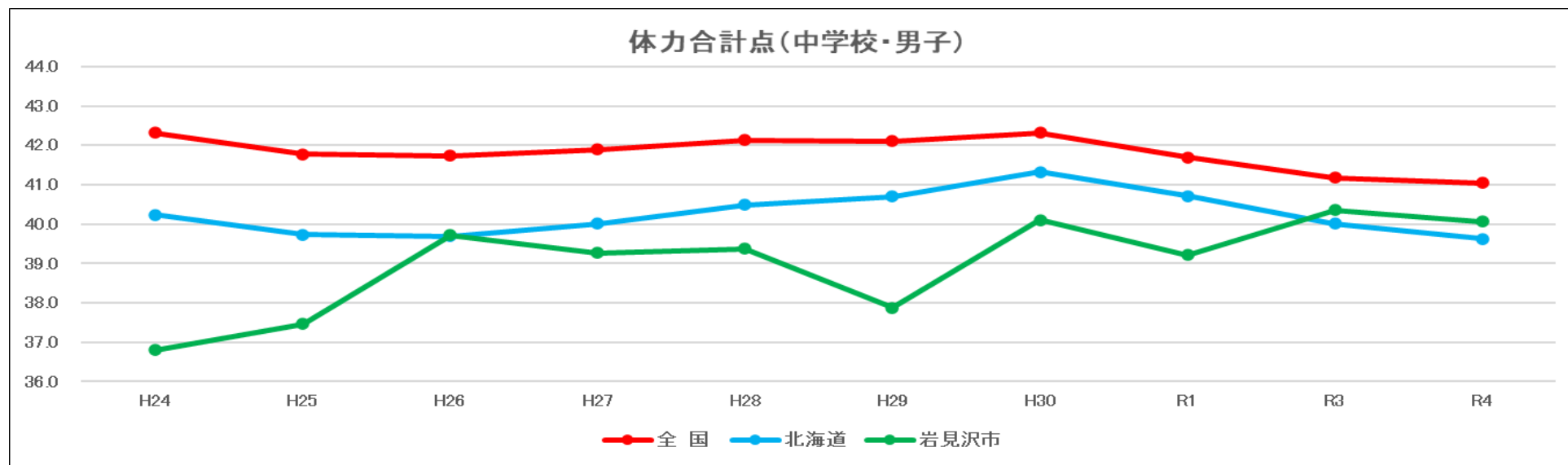
(1) 体力合計点の経年変化

体力合計点について、令和元年度までは上昇傾向にあったが、令和3年度に低下し、今年度はやや回復した。

(小学校)



(中学校)



II 調査結果の概要

2 実技に関する調査結果【小学校】 ○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（男子）

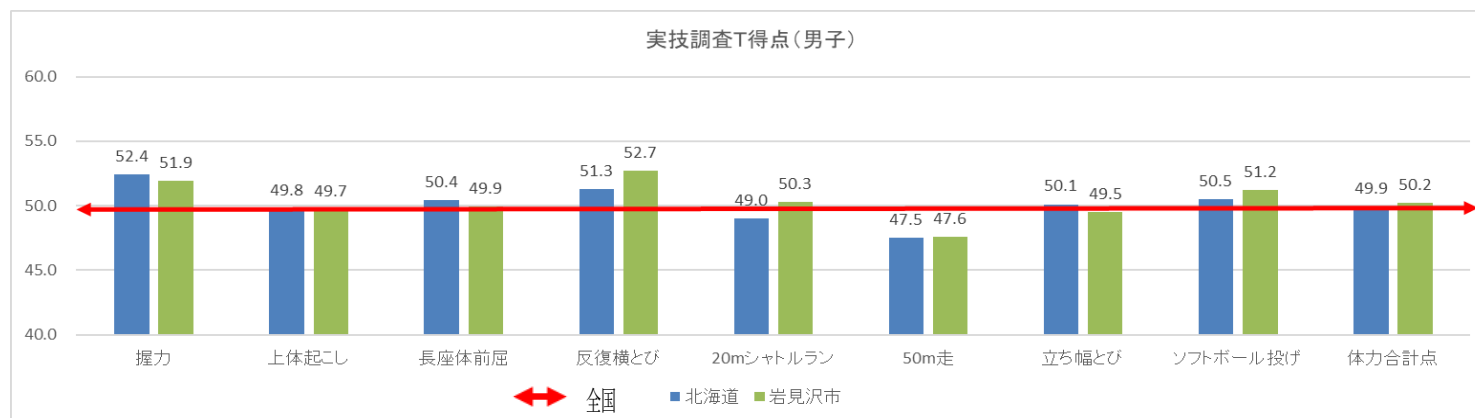
小学校 5年男子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	16.21	50.0	18.86	50.0	33.79	50.0	40.36	50.0	45.92	50.0	9.53	50.0	150.83	50.0	20.31	50.0	52.28	50.0
北海道	17.15	52.4	18.72	49.8	34.15	50.4	41.46	51.3	43.92	49.0	9.85	47.5	151.15	50.1	20.73	50.5	52.23	49.9
岩見沢市	16.95	51.9	18.69	49.7	33.71	49.9	42.66	52.7	46.53	50.3	9.84	47.6	149.58	49.5	21.32	51.2	52.43	50.2

○実技調査 T 得点（男子）

〈考察〉

小学校5年男子の各種目の記録は、8種目中、握力、反復横跳び、20mシャトルラン、ソフトボール投げの4種目が全国の平均値と比べを上回った。

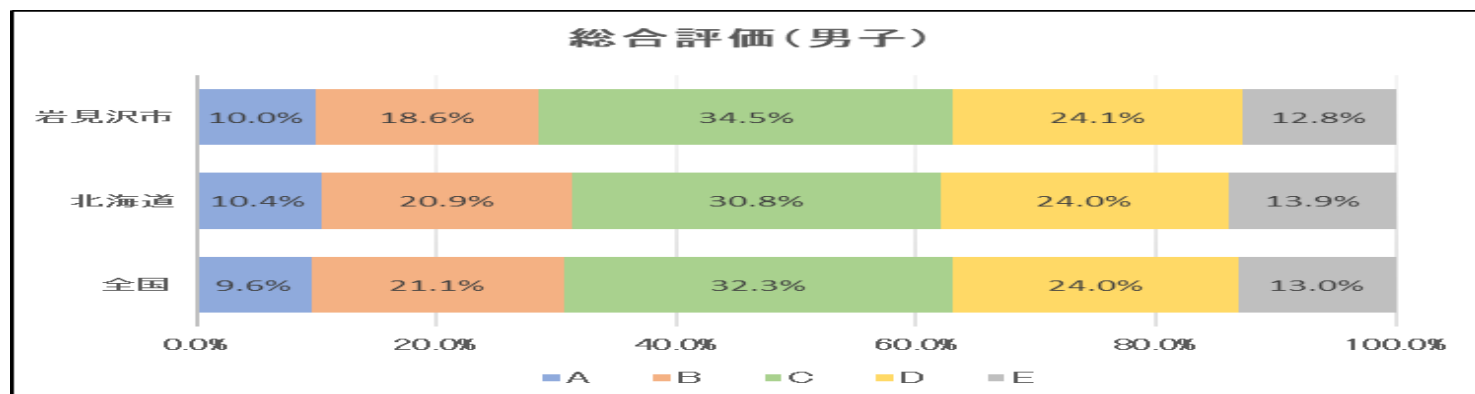
また、体力合計点でも全国の平均値を上回った。



○総合評価（男子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価とE評価はほぼ同数で、B評価がやや少なく中間層が多い。全国と同様の傾向にあると言える。



○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（女子）

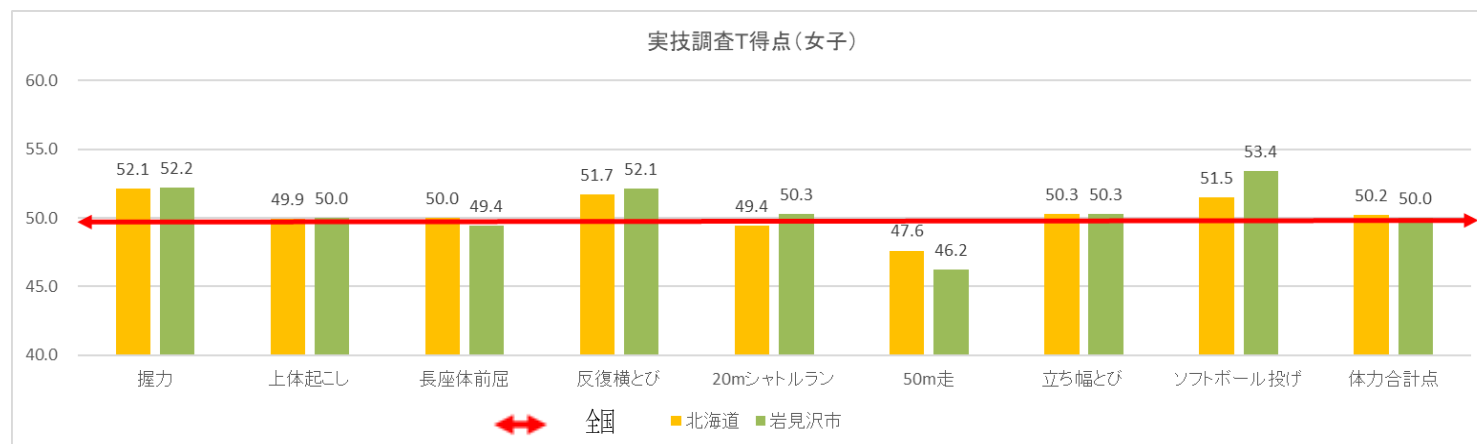
小学校 5年女子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	16.10	50.0	17.97	50.0	38.18	50.0	38.66	50.0	36.97	50.0	9.70	50.0	144.55	50.0	13.17	50.0	54.31	50.0
北海道	16.90	52.1	17.93	49.9	38.14	50.0	39.95	51.7	36.00	49.4	9.94	47.6	145.16	50.3	13.90	51.5	54.48	50.2
岩見沢市	16.98	52.2	17.95	50.0	37.67	49.4	40.26	52.1	37.48	50.3	10.08	46.2	145.16	50.3	14.78	53.4	54.32	50.0

○実技調査 T 得点（女子）

〈考察〉

小学校5年女子の各種目の記録は、8種目中、握力、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目が全国の平均値を上回った。

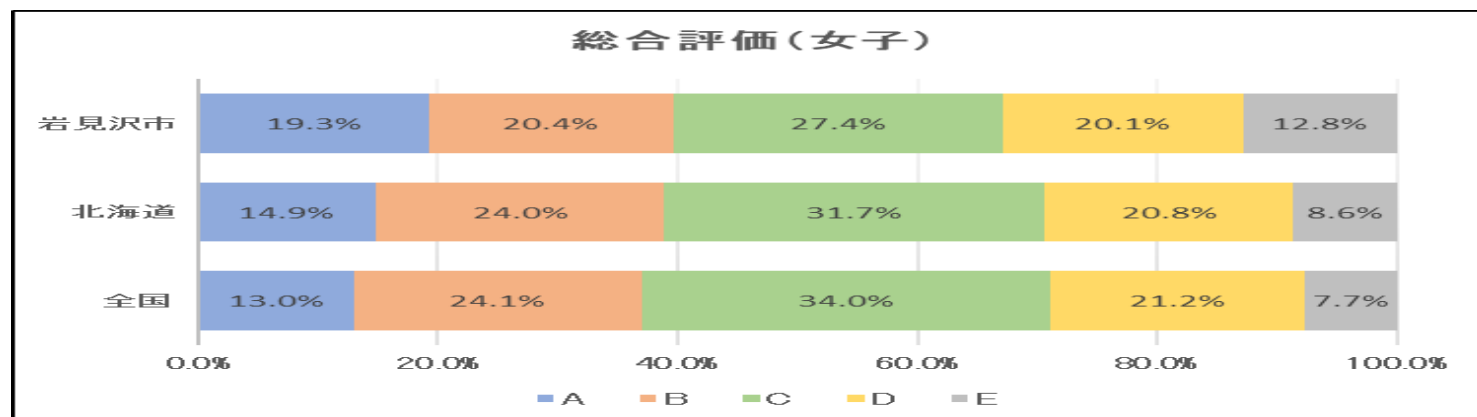
また、上体起こしと体力合計点は、全国の平均値と同数であった。



○総合評価（女子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価が6.3ポイント多く、E評価も5.1ポイント多い。中間層が少ないことから、運動ができる児童と苦手な児童の二極化傾向にある。



【中 学 校】

○各種目の記録と体力合計点（T 得点を含む）（男子）

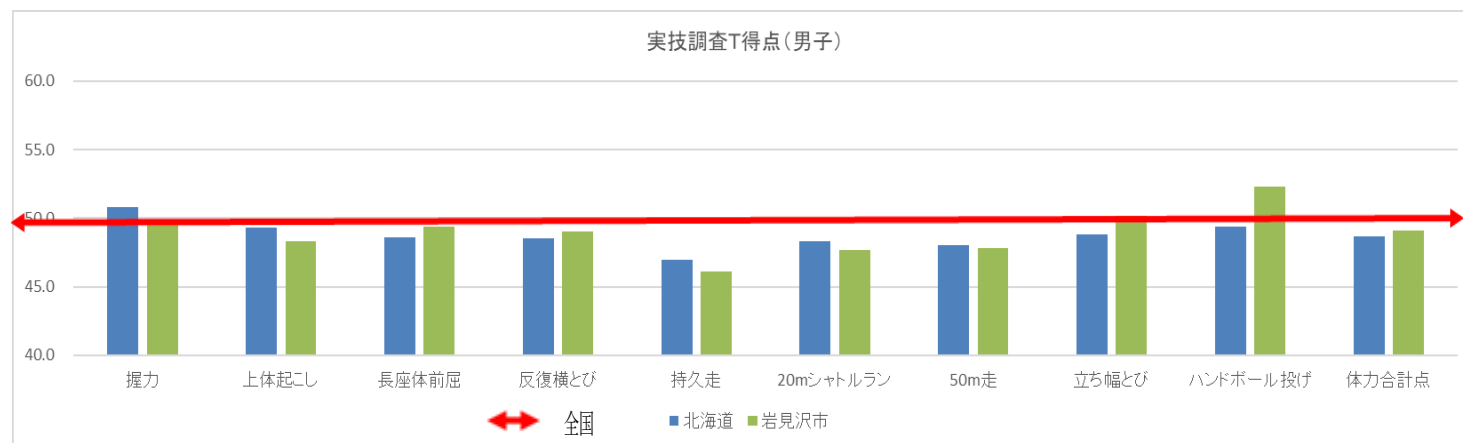
中学校 2年男子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	28.99	50.0	25.74	50.0	43.87	50.0	51.05	50.0	409.81	50.0	78.07	50.0	8.06	50.0	196.89	50.0	20.28	50.0	41.04	50.0
北海道	29.59	50.8	25.31	49.3	42.33	48.6	49.70	48.5	431.39	47.0	73.63	48.3	8.28	48.0	193.37	48.8	19.92	49.4	39.63	48.7
岩見沢市	28.72	49.6	24.68	48.3	43.18	49.4	50.13	49.0	438.00	46.1	72.04	47.7	8.30	47.8	197.44	50.2	21.68	52.3	40.07	49.1

○実技調査 T 得点（男子）

〈考察〉

中学校2年男子の各種目の記録は、9種目中、立ち幅とび、ハンドボール投げの2種目が全国の平均値を上回った。

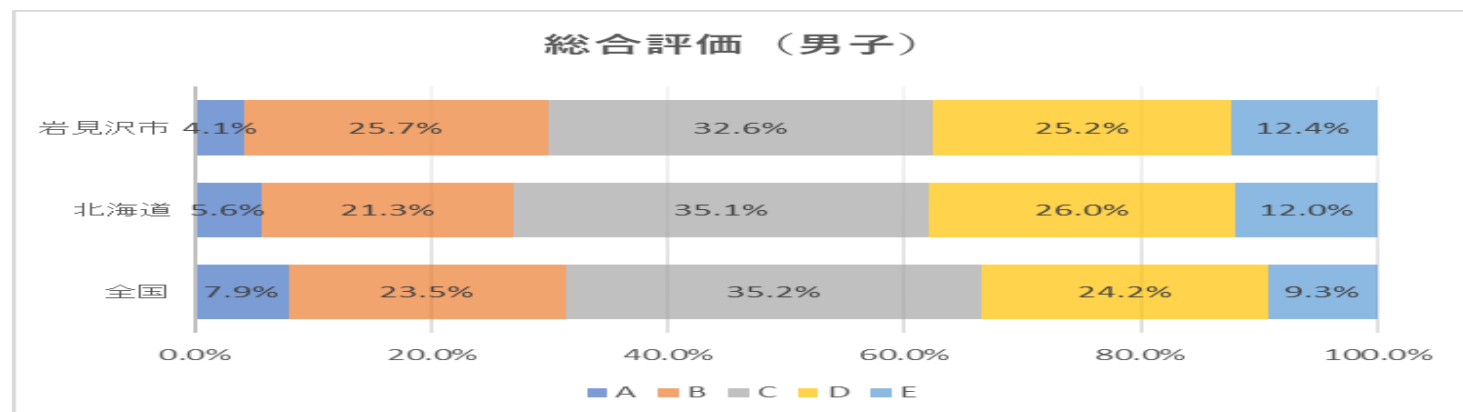
体力合計点は、全国平均をやや下回った。



○総合評価（男子）

〈考察〉

総合評価では、全国と比べ、A評価が3.8ポイント少なく、E評価は3.1ポイント多い。運動が苦手な生徒が多いと言える。



○各種目の記録と体力合計点（T得点を含む）（女子）

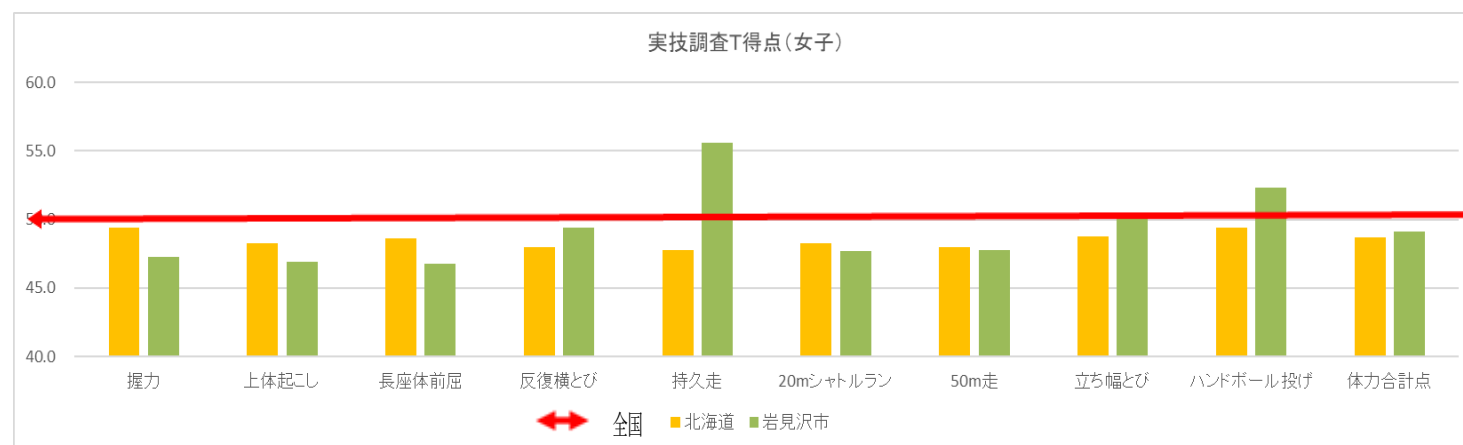
中学校 2年女子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		持久走(秒)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)		ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	23.21	50.0	21.67	50.0	46.07	50.0	45.81	50.0	302.89	50.0	51.60	50.0	8.96	50.0	167.04	50.0	12.45	50.0	47.42	50.0
北海道	22.93	49.4	20.69	48.3	44.62	48.6	44.33	48.0	313.68	47.8	46.94	47.6	9.19	47.6	162.10	48.1	12.16	49.3	44.85	47.8
岩見沢市	21.94	47.3	19.84	46.9	42.73	46.8	45.36	49.4	275.38	55.6	46.10	47.2	9.15	48.0	166.60	49.8	12.84	50.9	44.34	47.3

○実技調査T得点（女子）

〈考察〉

中学校2年女子の各種目の記録は、9種目中、持久走、ハンドボール投げの2種目が全国の平均値を上回った。

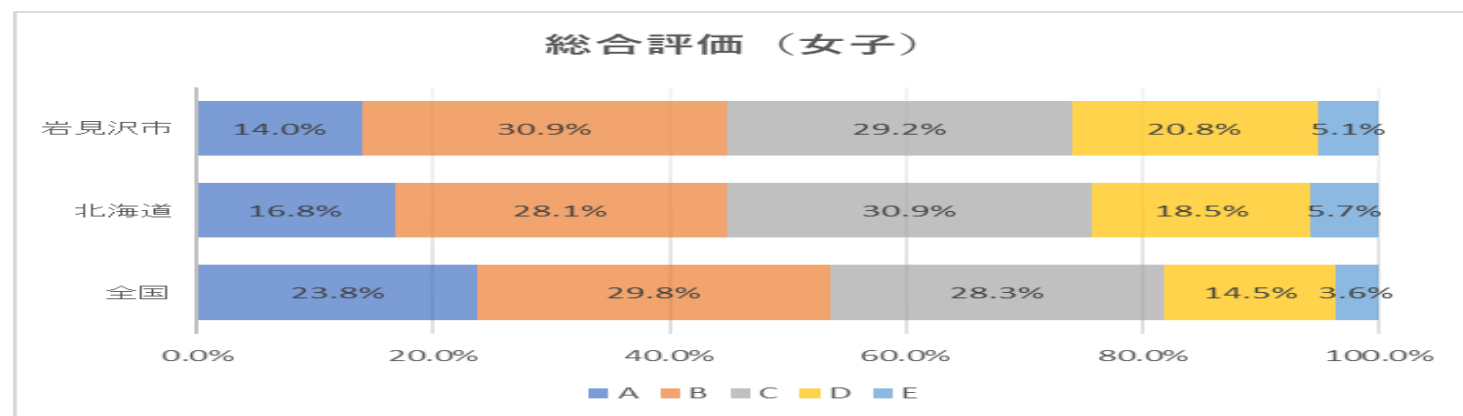
体力合計点は、全国平均を下回った。



○総合評価（女子）

〈考察〉

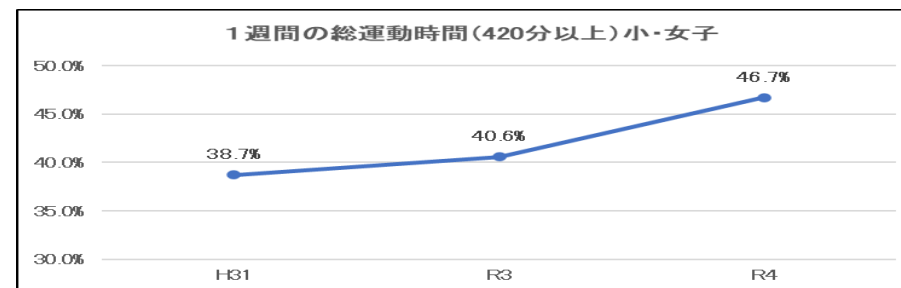
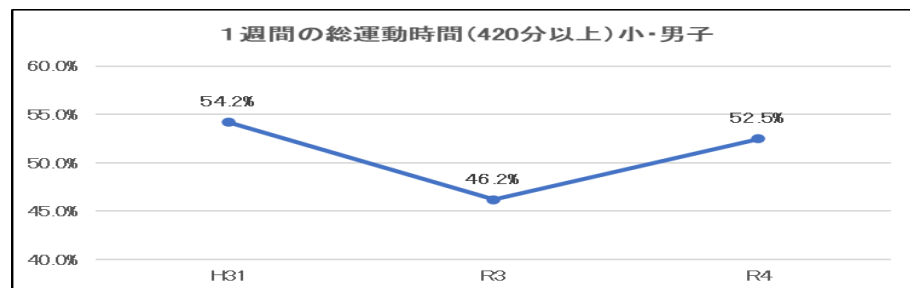
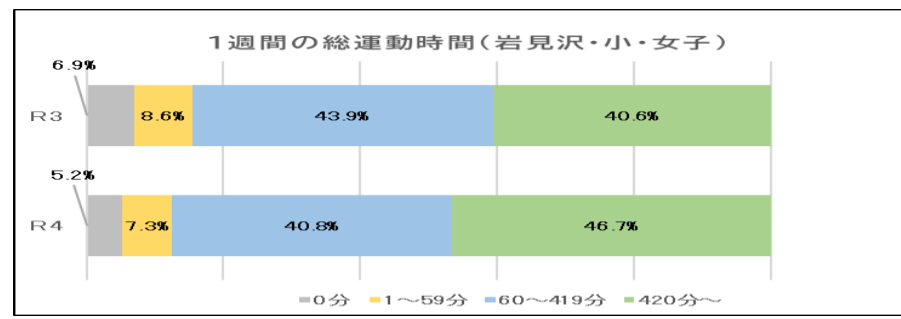
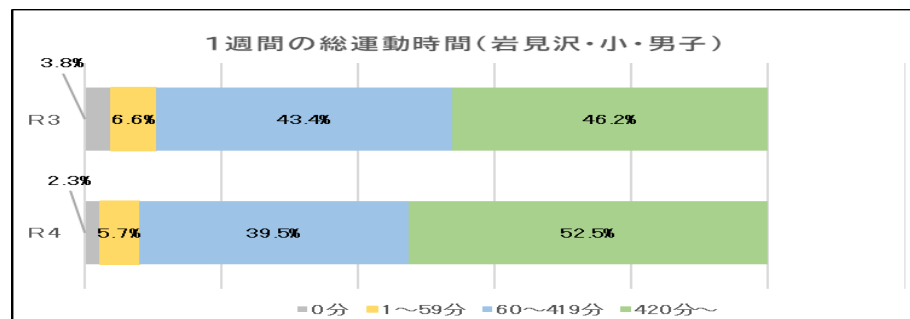
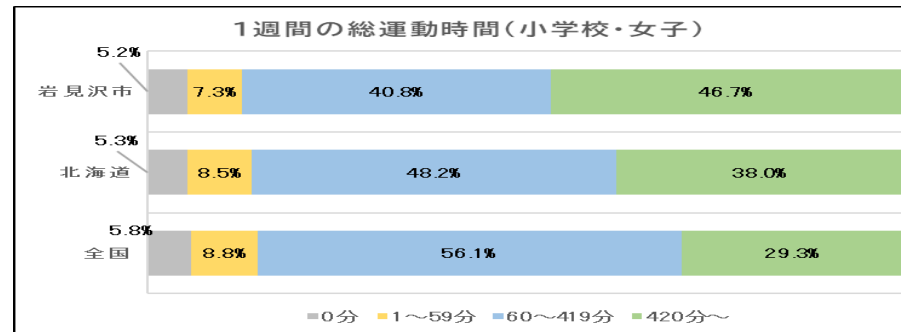
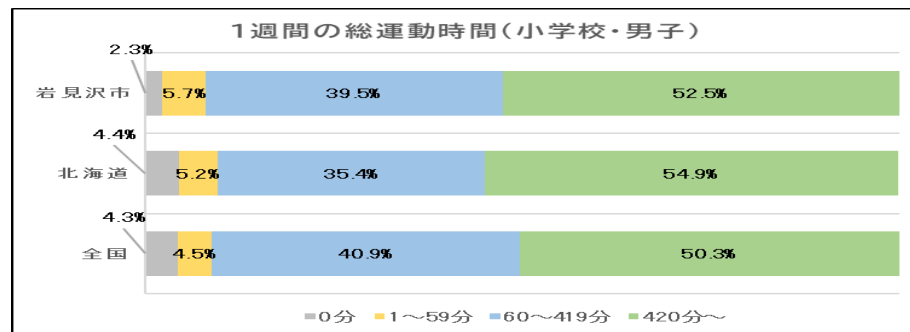
総合評価では、全国と比べ、A評価が9.8ポイント少なく、E評価が1.5ポイント、D評価が6.3ポイント多い。運動が苦手な生徒が多いと言える。



3 児童生徒の運動時間（体育の授業を除く。）

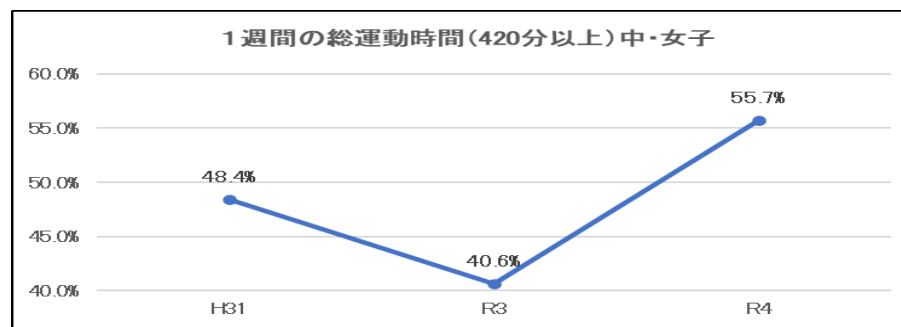
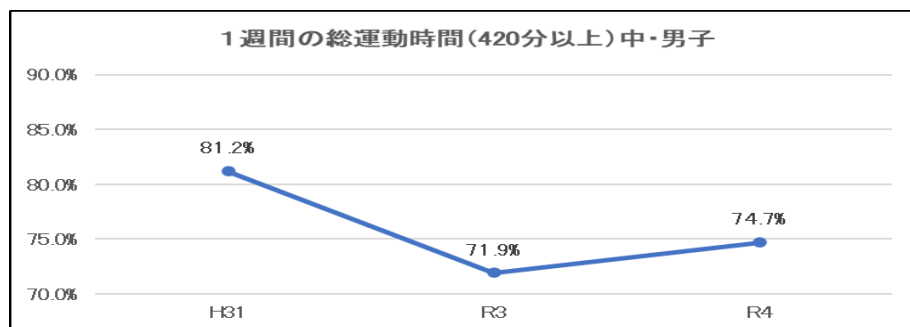
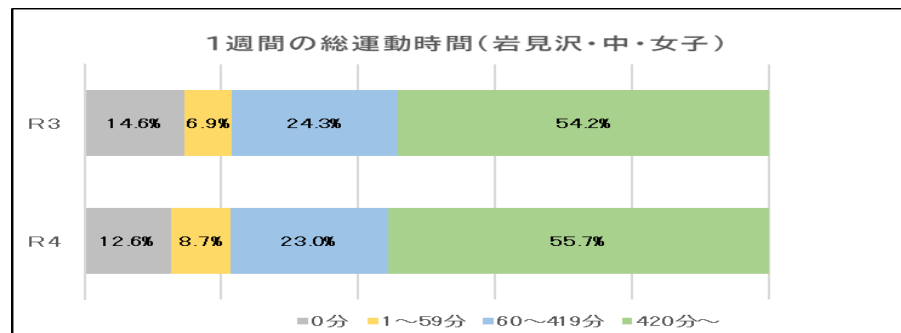
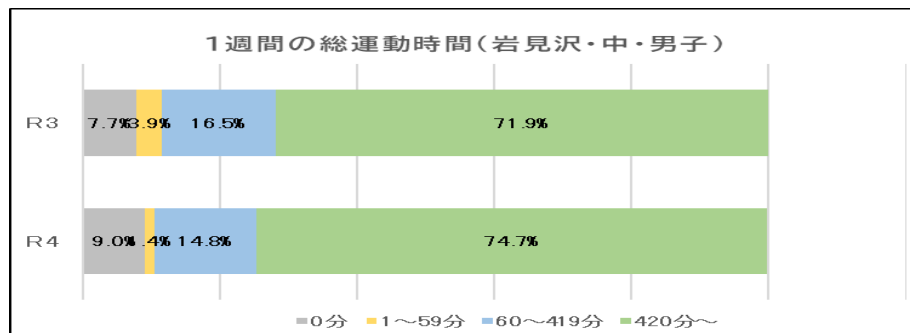
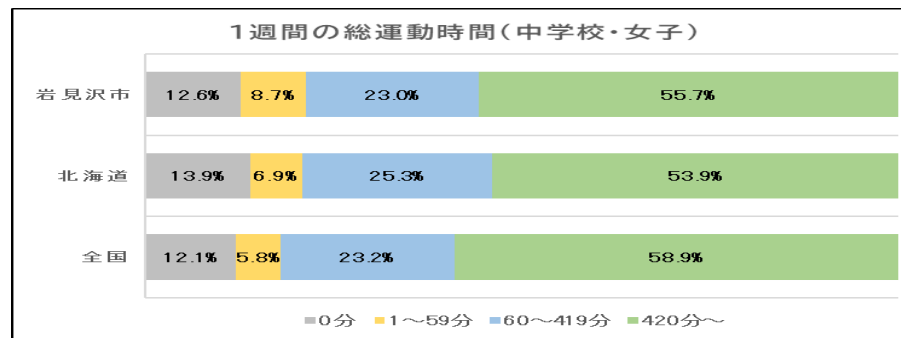
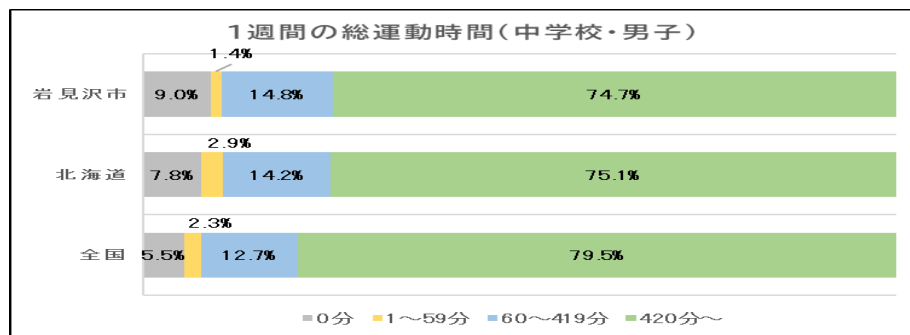
1週間の総運動時間が420分以上の割合は、全国と比べ、小学校は男女ともに上回っており、中学校は男女ともに下回っている。一方、令和3年度と比べると小・中学校の男女ともに増加した。

(1) 小学校



(考察) 1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒の割合は、全国と比べ、男子は2.2ポイント、女子は17.4ポイント上回っている。また、令和3年度と比べると420分以上の児童の割合は、男子は6.3ポイント、女子は6.1ポイント上回っている。

(2) 中学校



(考察) 1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は、全国と比べ、男子は4.8ポイント、女子は3.2ポイント下回っている。一方、令和3年度と比べると420分以上の生徒の割合は、男子は2.8ポイント、女子は1.5ポイント上回っている。

4 体格と肥満度に関する調査結果

【小学校】

(1) 体格の記録及び肥満度等の出現率

小学校 5年男子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	139.52	50.0	35.51	50.0	1.6%	5.9%	7.0%	82.9%	2.4%	0.1%
北海道	140.07	50.9	37.45	52.4	3.2%	10.0%	9.0%	75.6%	2.1%	0.1%
岩見沢市	139.35	49.7	36.02	50.6	2.7%	7.9%	6.5%	78.8%	3.8%	0.3%

〈考察〉

小学校5年生男子の体格は全国と比べ、身長はほぼ全国と同程度で、体重はやや上回っている。

肥満度等は、高度・中度肥満が全国と比べやや上回っており、やせもやや上回っている。普通が少ないことから二極化の傾向にある。

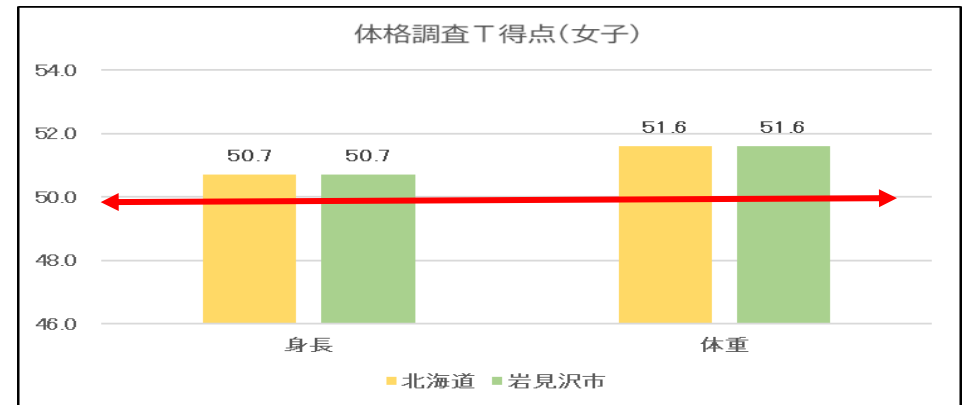
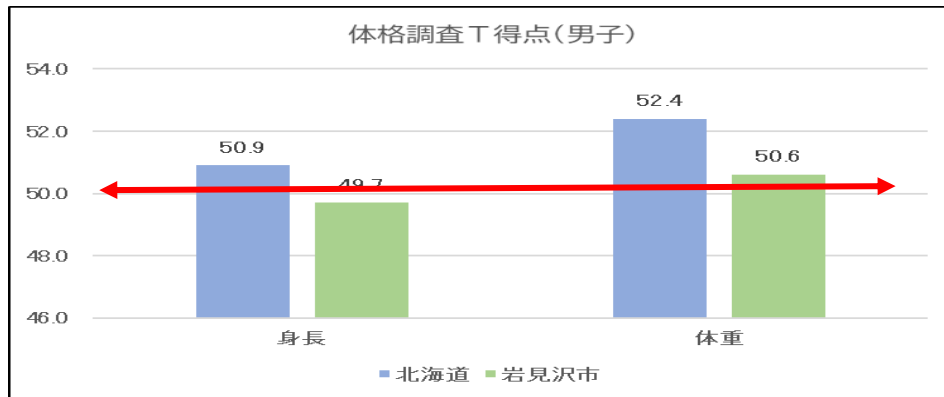
小学校 5年女子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	141.30	50.0	35.37	50.0	0.8%	3.6%	5.4%	87.6%	2.5%	0.1%
北海道	141.78	50.7	36.54	51.6	1.5%	5.7%	6.6%	83.8%	2.3%	0.1%
岩見沢市	141.78	50.7	36.54	51.6	1.4%	5.9%	6.9%	84.0%	1.7%	0.0%

〈考察〉

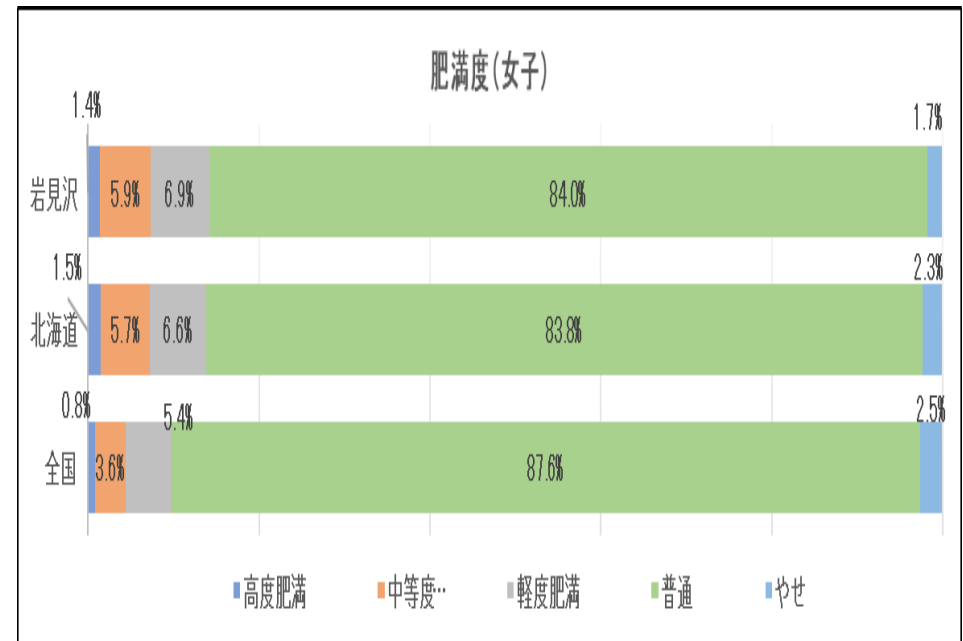
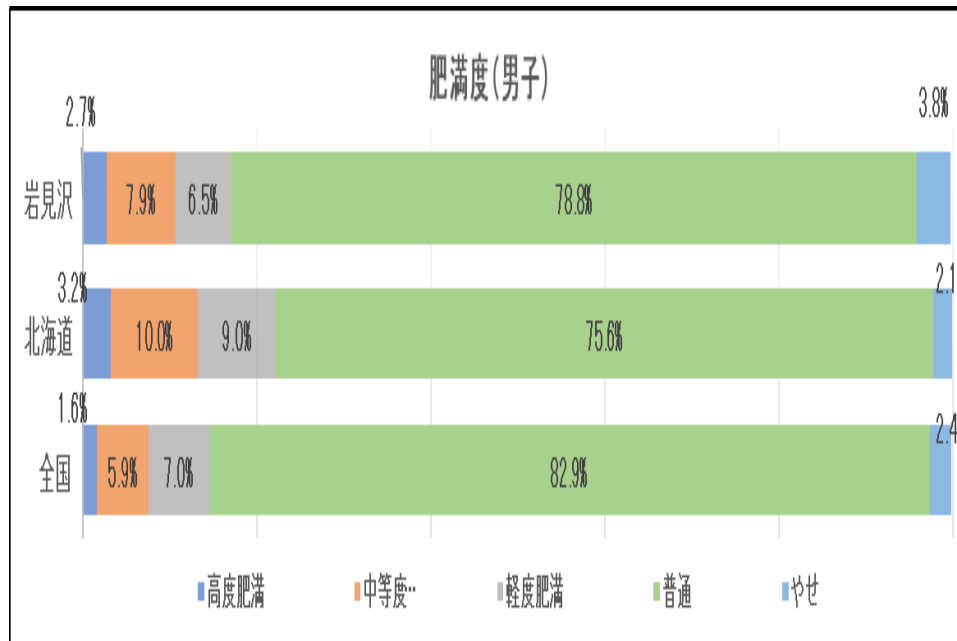
小学校5年生女子の体格は全国と比べ、身長、体重共にやや上回っている。

肥満度等は、高度・中度・軽度肥満が全国と比べやや上回り、やせはやや下回った。普通が少ないことから肥満傾向の児童が多い傾向にある。

(2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較
 <体格:全国を50とした時の偏差値(T得点)で表示>



<肥満度傾向児・痩身傾向児の出現率>



【中学校】

(1)体格の記録及び肥満度等の出現率

中学校 2年男子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	161.05	50.0	50.45	50.0	1.9%	4.4%	5.2%	85.4%	3.0%	0.2%
北海道	161.92	51.2	52.30	51.8	2.6%	6.1%	6.8%	81.2%	3.0%	0.3%
岩見沢市	162.98	52.6	52.51	52.0	2.5%	6.5%	4.3%	80.4%	5.1%	1.1%

〈考察〉

中学校2年生男子の体格は全国と比べ、身長、体重共に上回っている。

肥満度等は、高度・中度肥満が全国と比べやや上回り、やせもやや上回った。普通が少ないことから二極化の傾向にある。

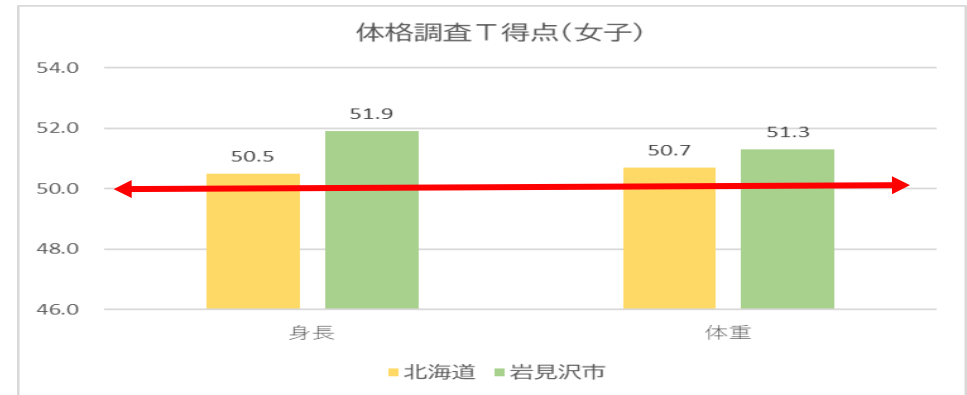
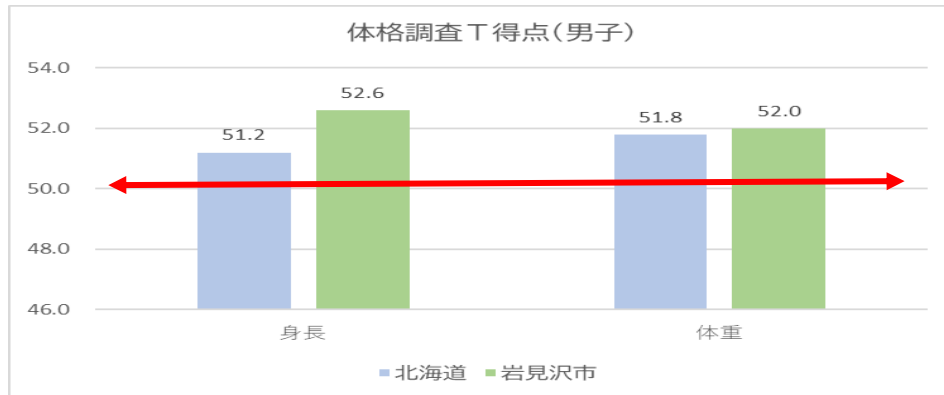
中学校 2年女子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	普通	やせ	高度やせ
全国	154.92	50.0	47.09	50.0	0.9%	2.6%	4.2%	88.5%	3.6%	0.2%
北海道	155.20	50.5	47.61	50.7	1.3%	3.5%	4.6%	86.8%	3.6%	0.3%
岩見沢市	155.96	51.9	48.10	51.3	1.3%	4.0%	5.3%	84.6%	4.4%	0.4%

〈考察〉

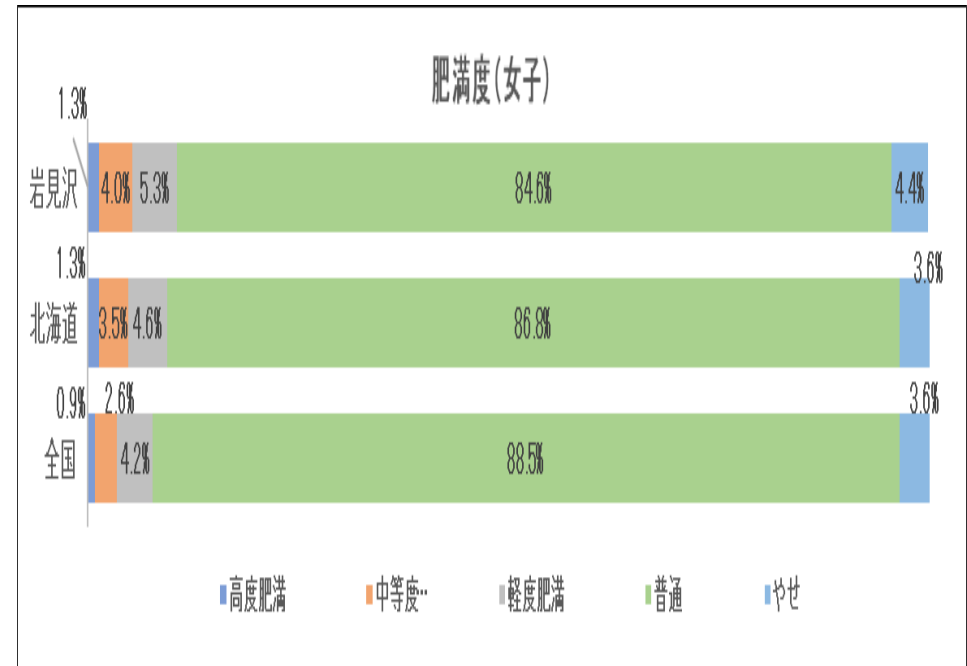
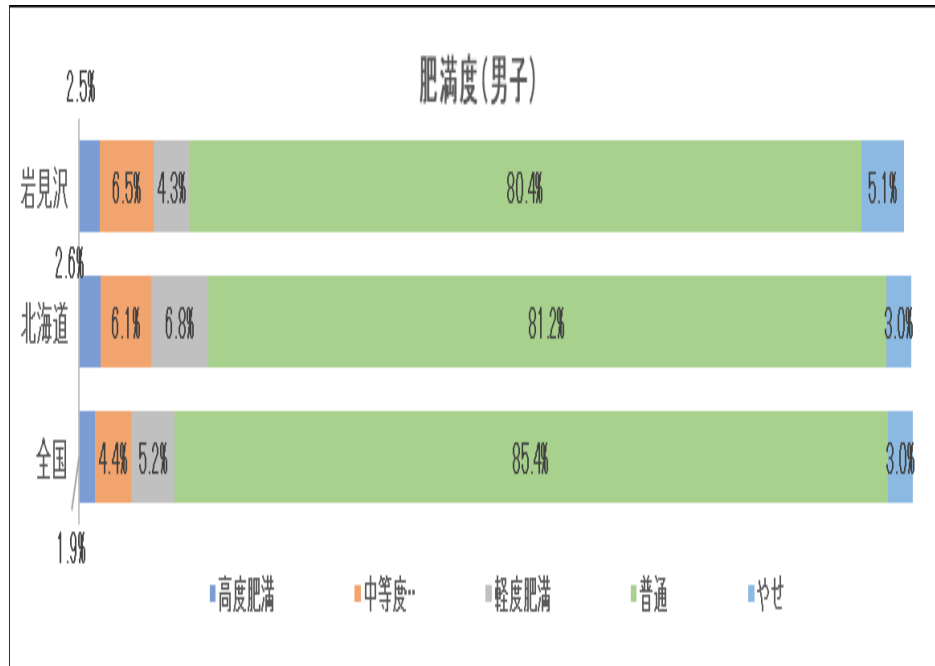
中学校2年生女子の体格は全国と比べ、身長、体重共にやや上回っている。

肥満度等は、高度・中度・軽度肥満が全国と比べやや上回り、やせも上回った。普通が少ないことから二極化の傾向にある。

(2) 体格及び肥満度等の全国、北海道との比較
 <体格:全国を50とした時の偏差値(T得点)で表示>



<肥満度傾向児・痩身傾向児の出現率>

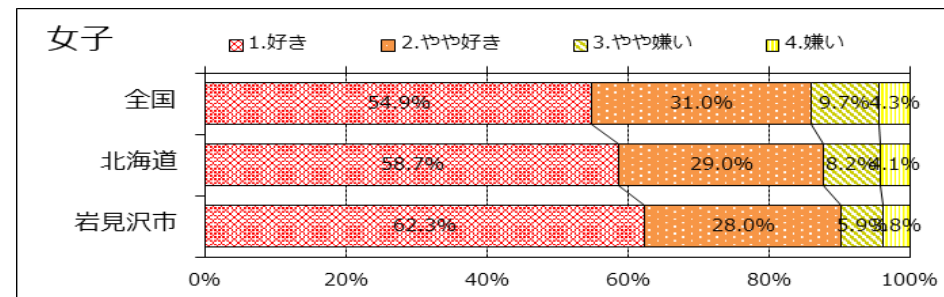
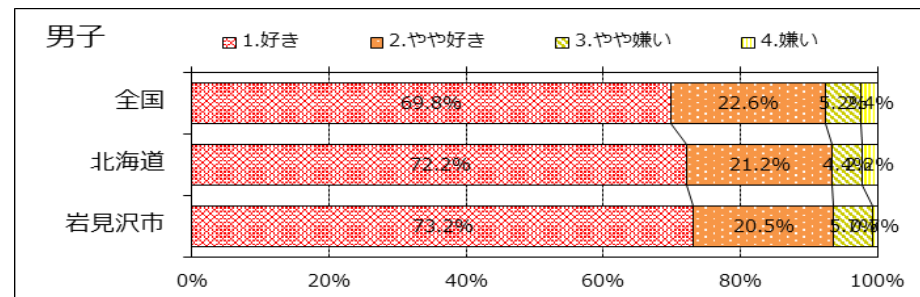


5 児童生徒質問紙の調査結果

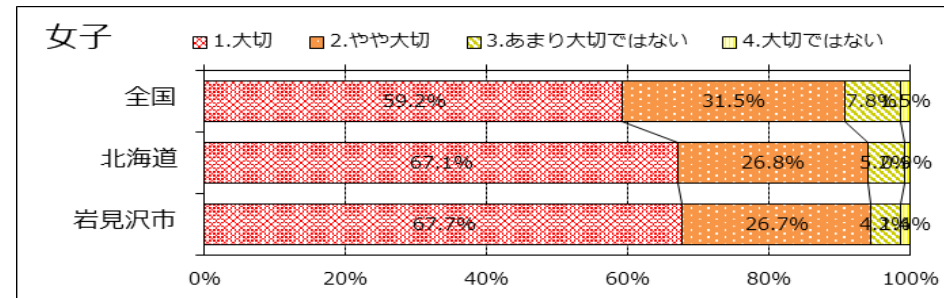
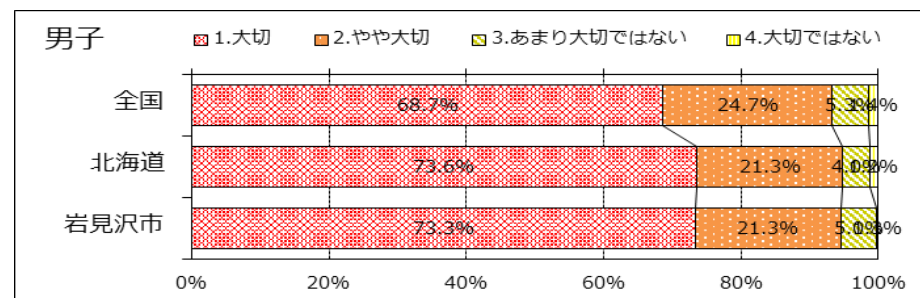
【小学校】

質問1 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

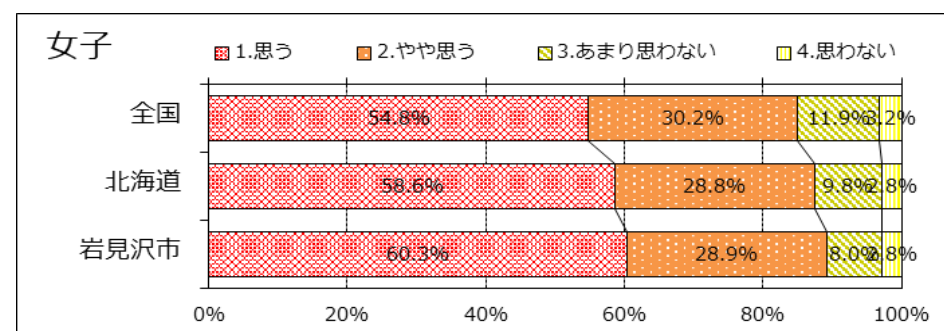
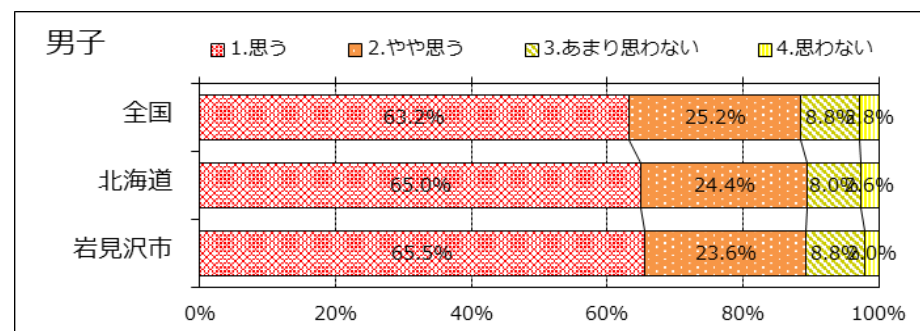
(*グラフは数値の3%前後のものについては表示しない。基本的には男子は左側、女子は右側に表示する。)



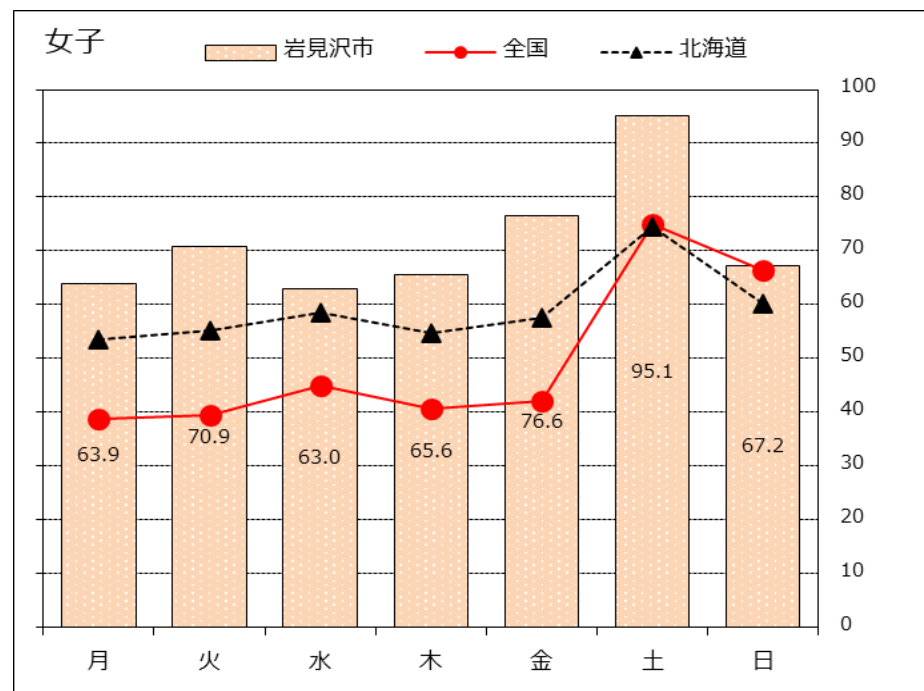
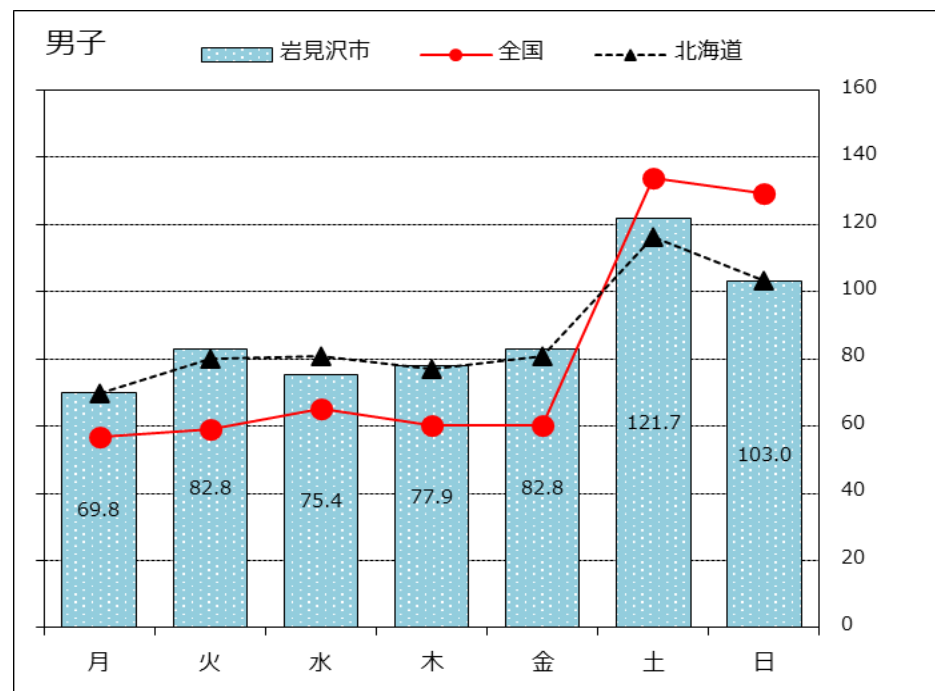
質問2 あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



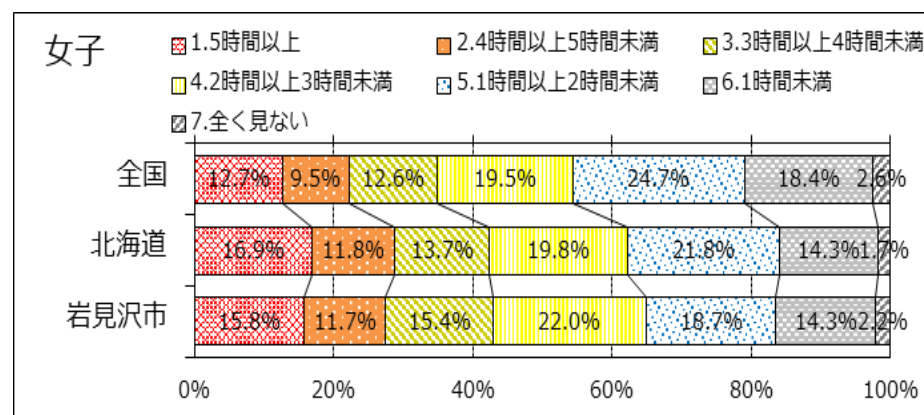
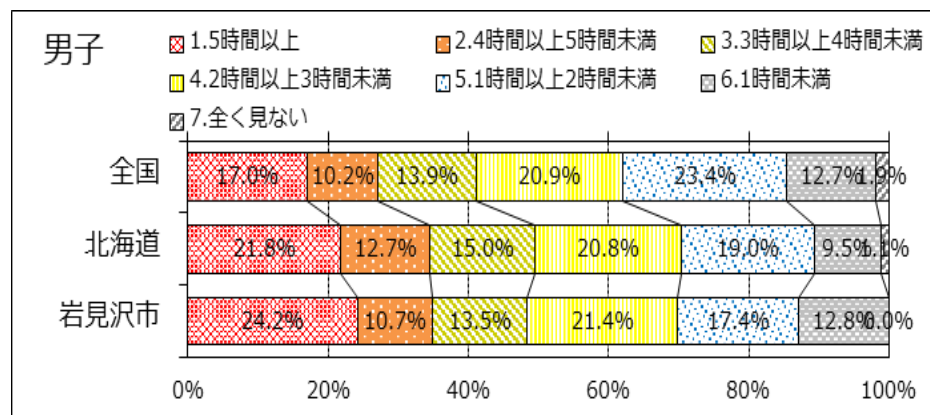
質問3 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



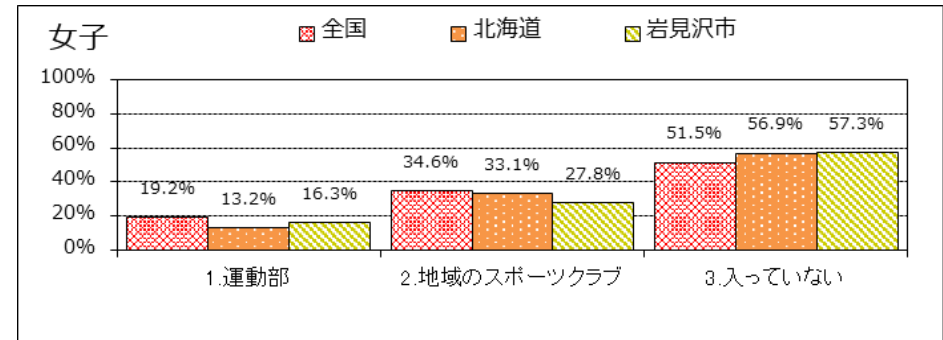
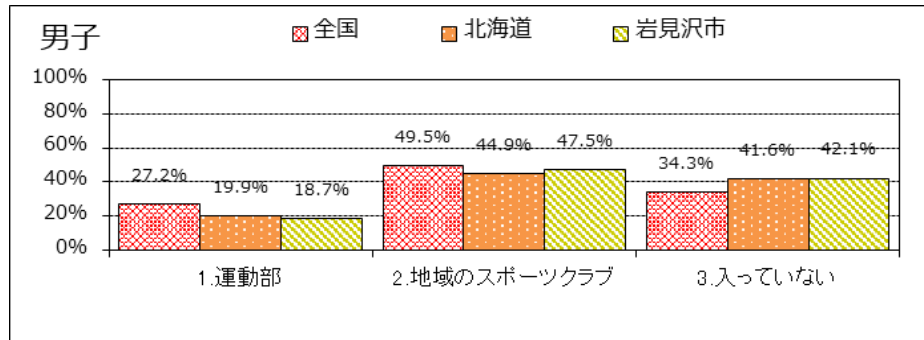
質問4 ふだんの一週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか。



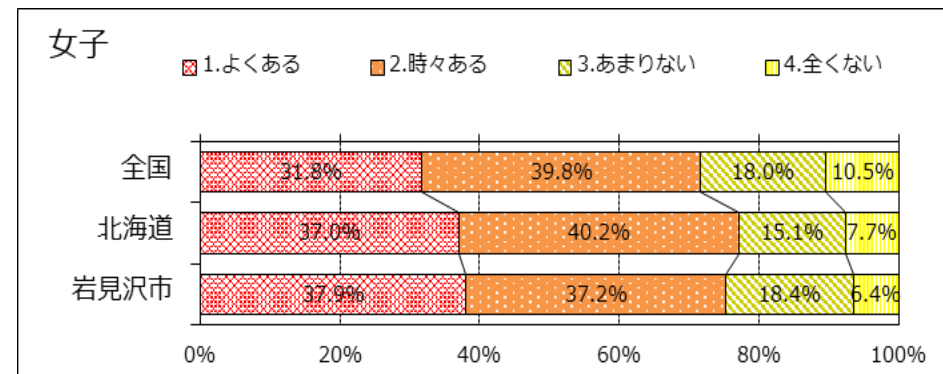
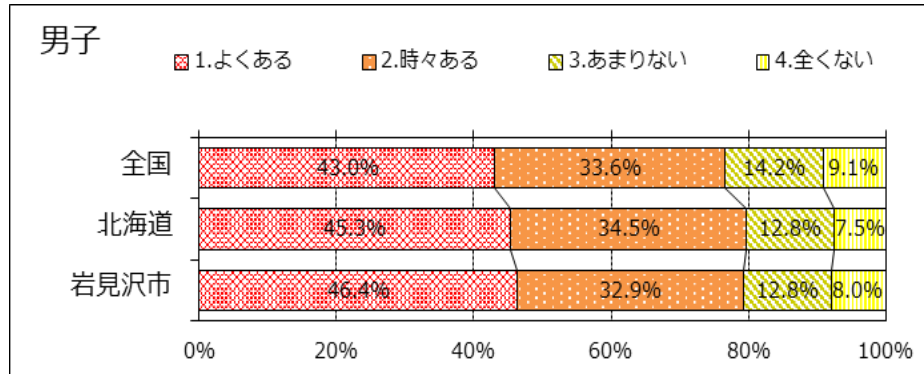
質問7 平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



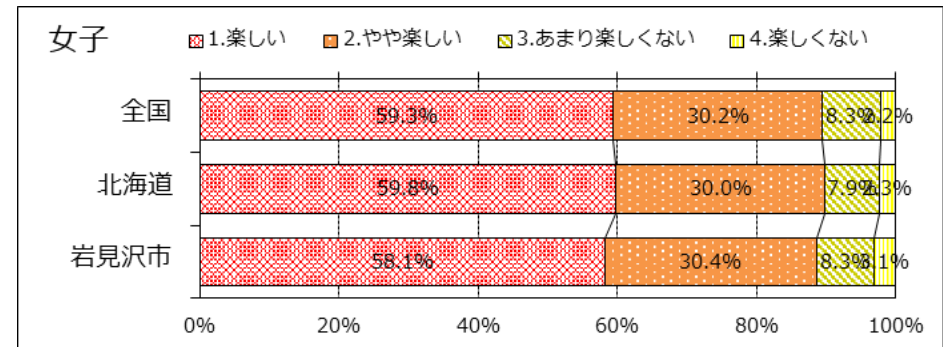
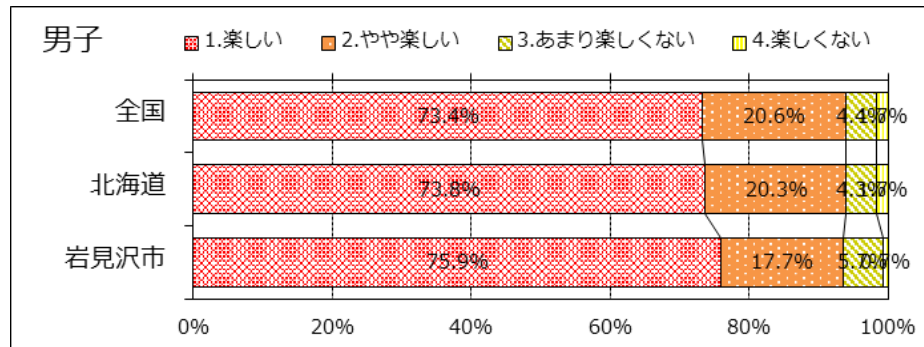
質問8 学校の運動部や地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事を含む）に入っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。



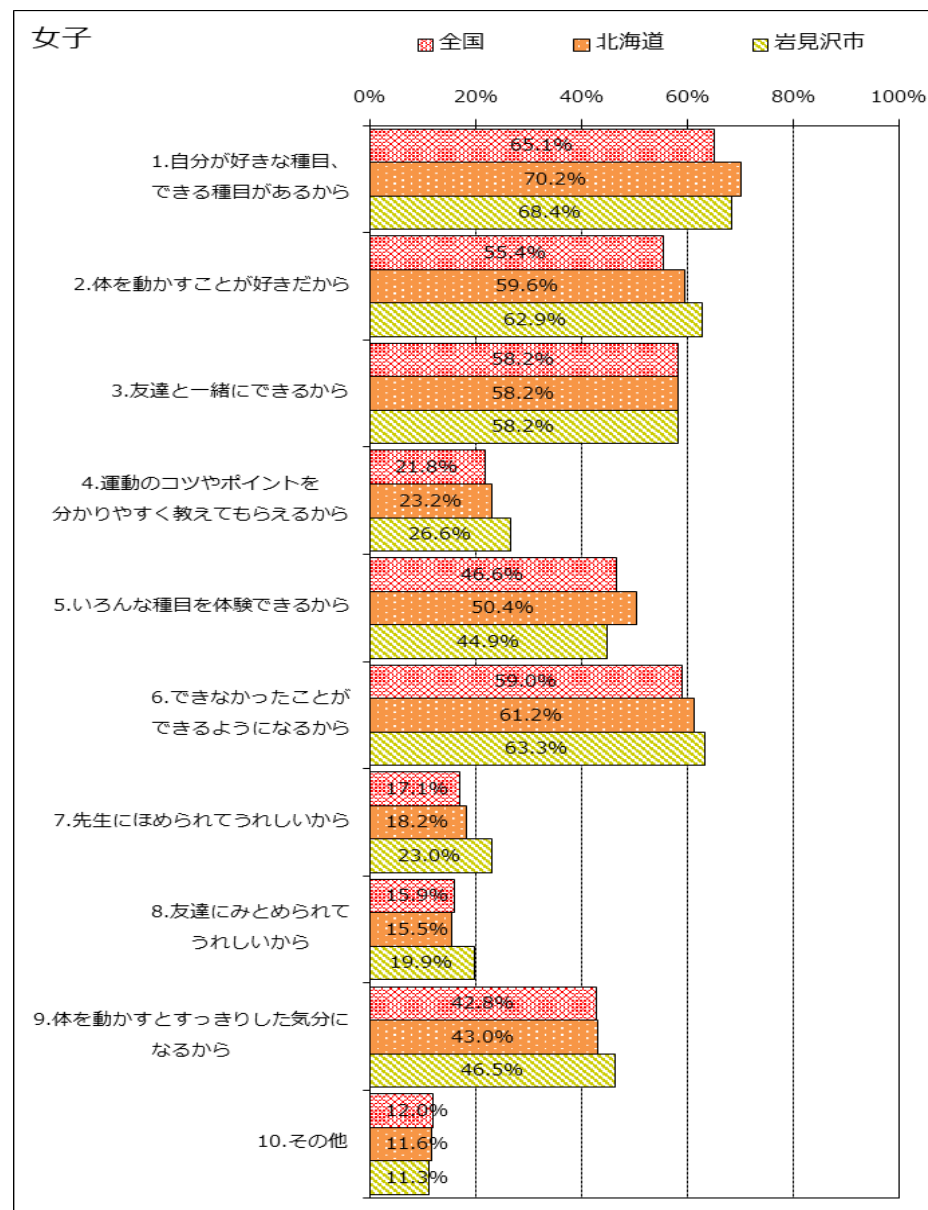
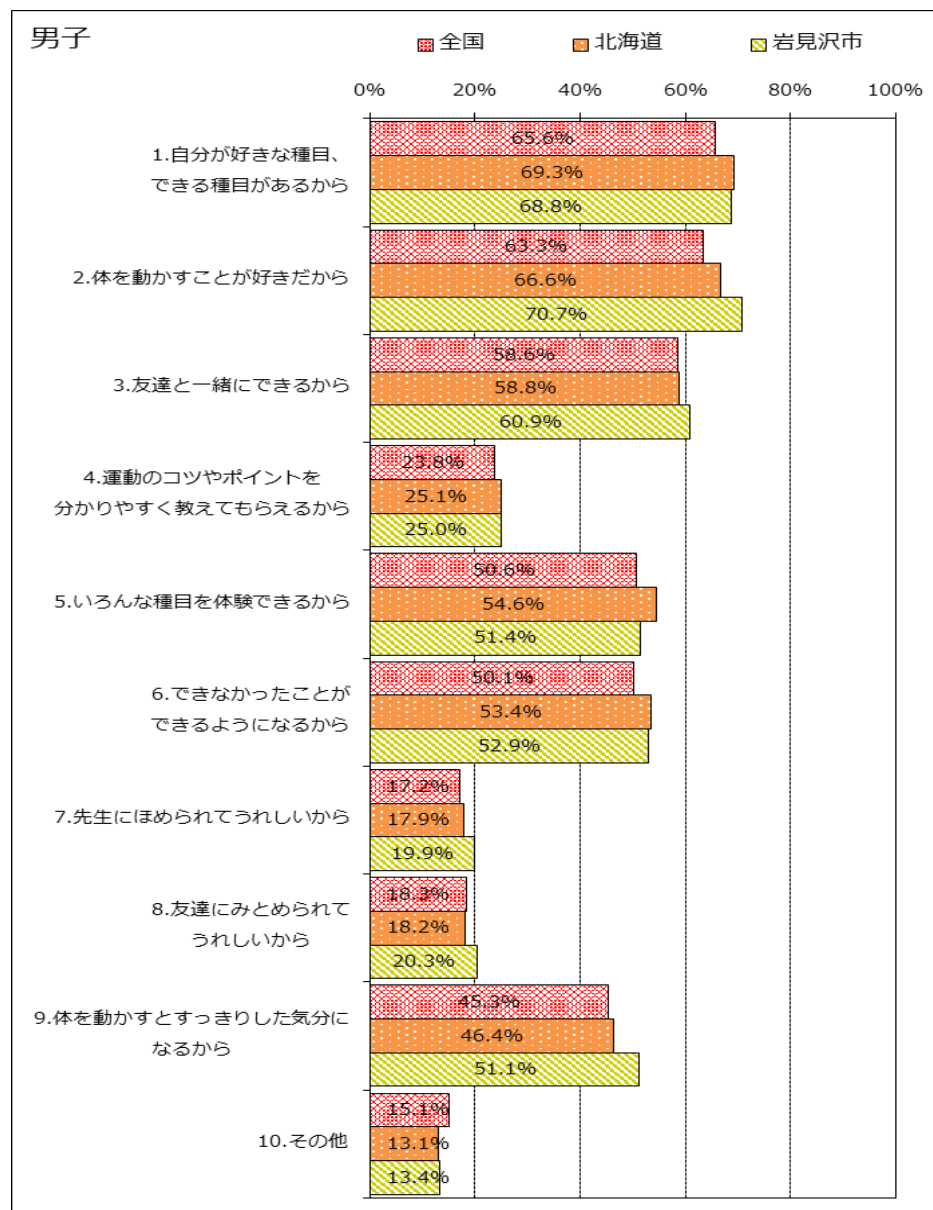
質問9 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがありますか。



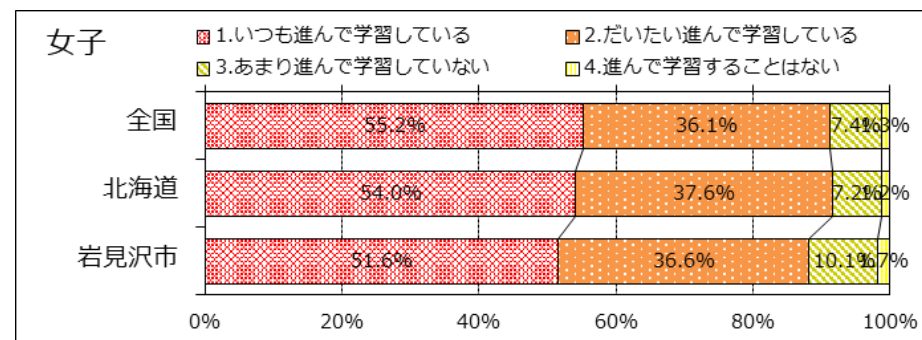
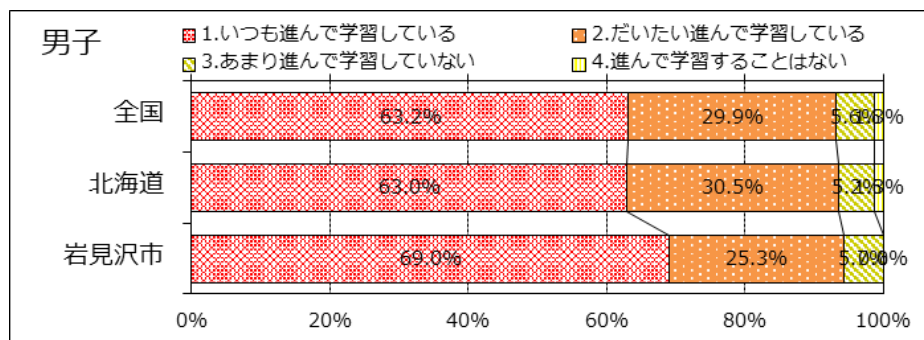
質問10 体育の授業は楽しいですか。



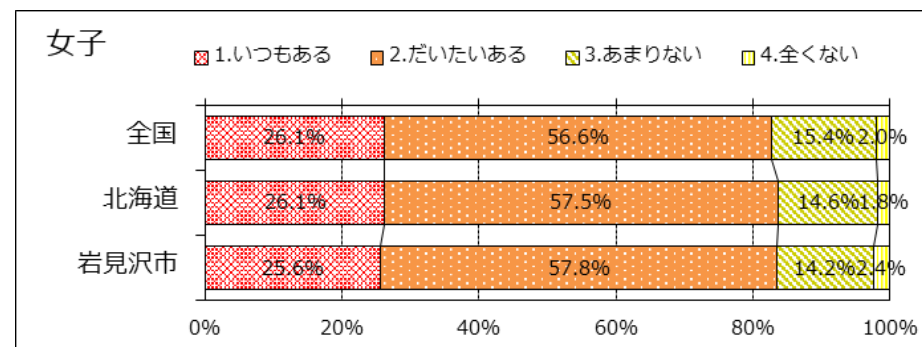
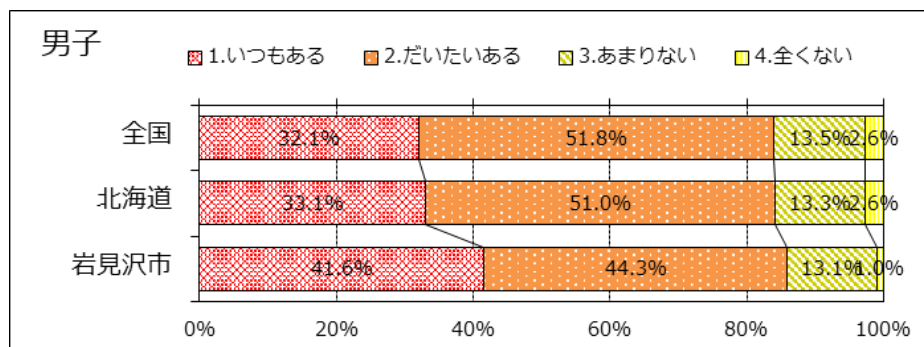
質問10-2 (質問10で「楽しい」または「やや楽しい」と回答した人) そのように思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。



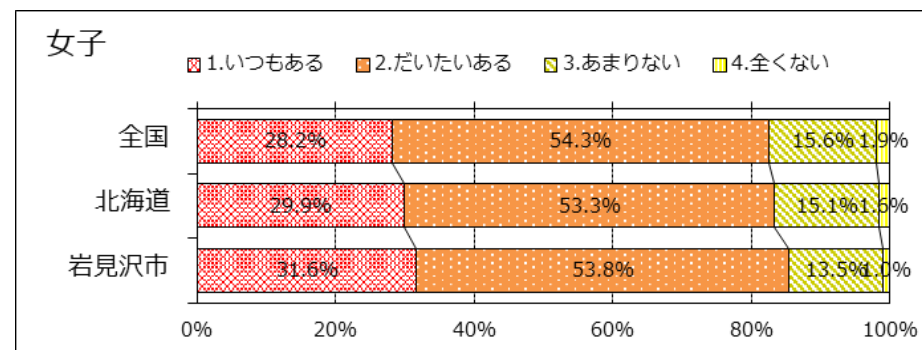
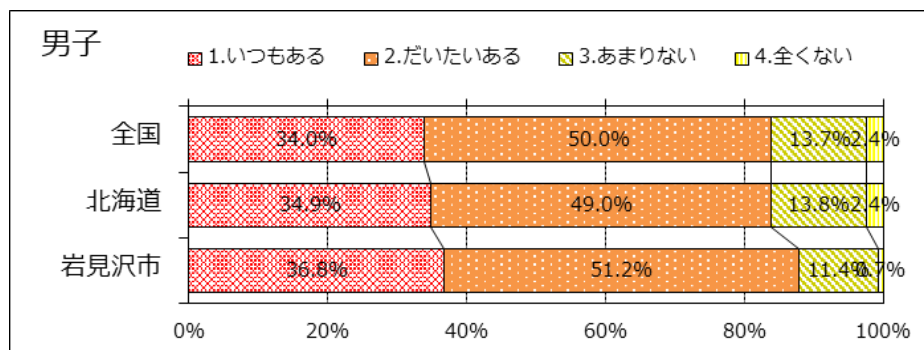
質問11 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



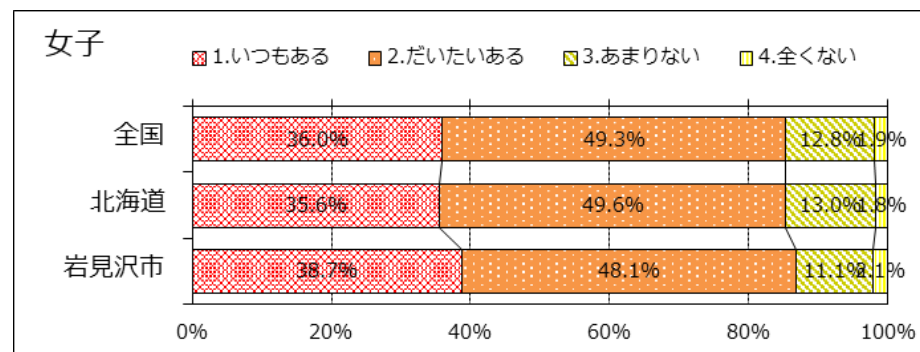
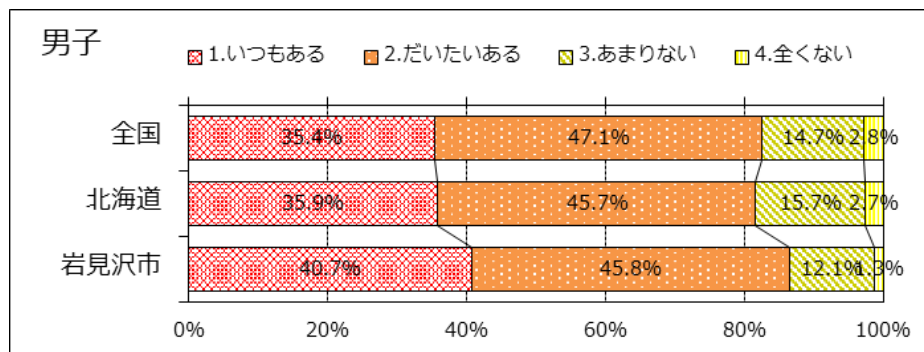
質問12 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



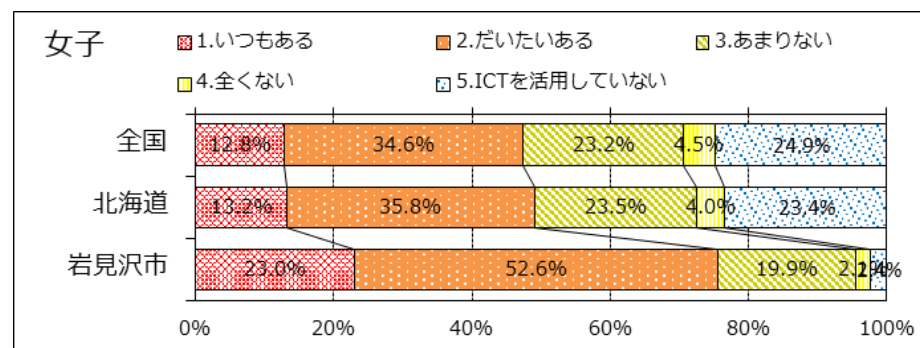
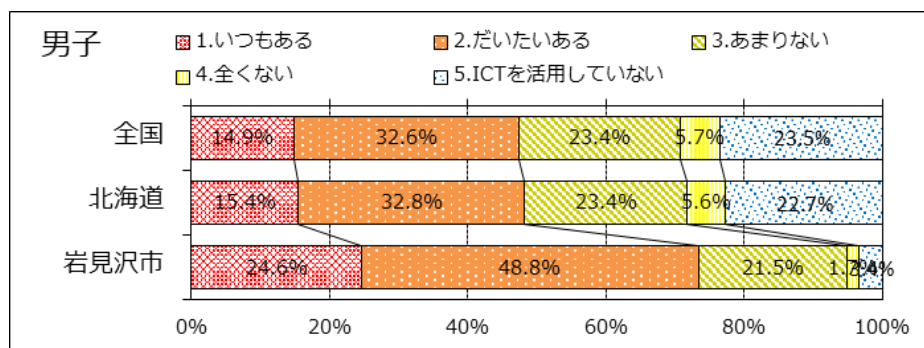
質問13 体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問14 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問15 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

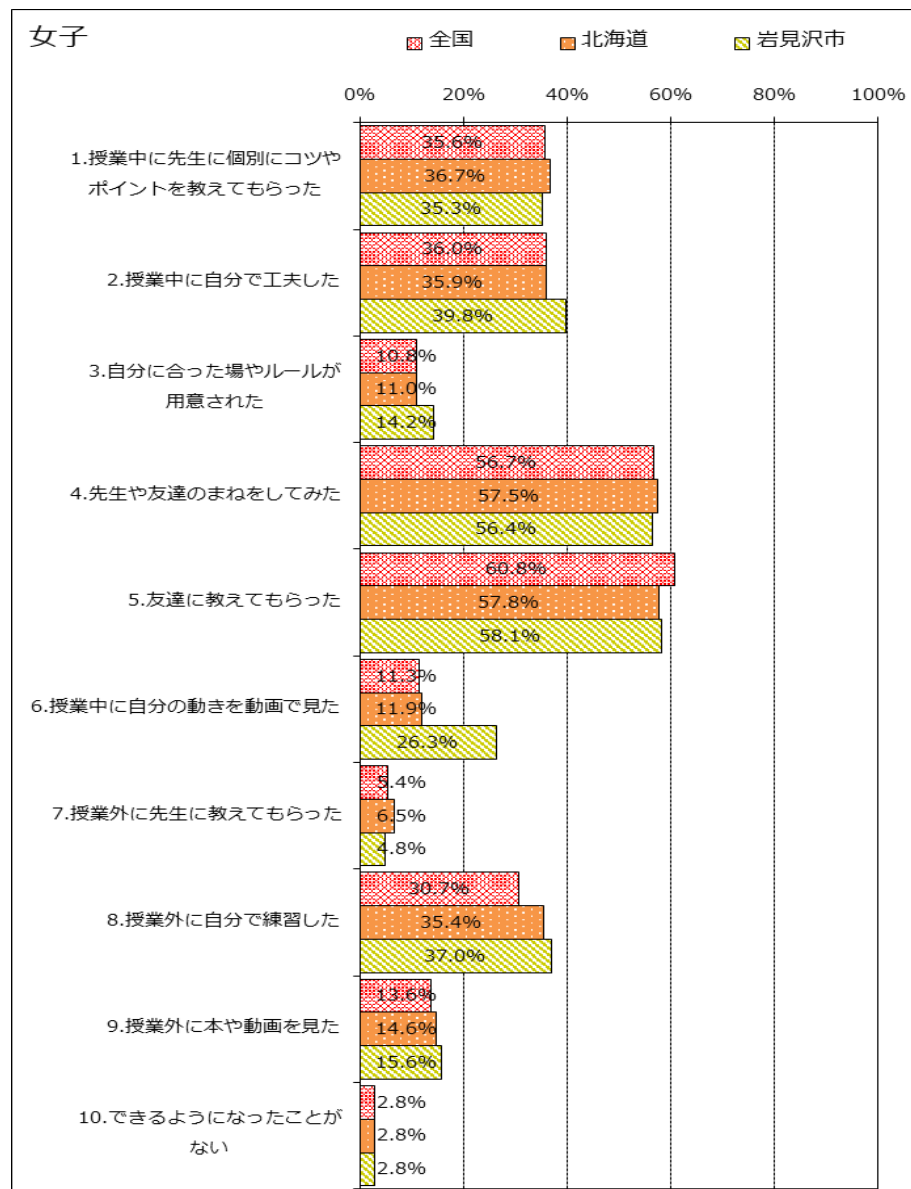
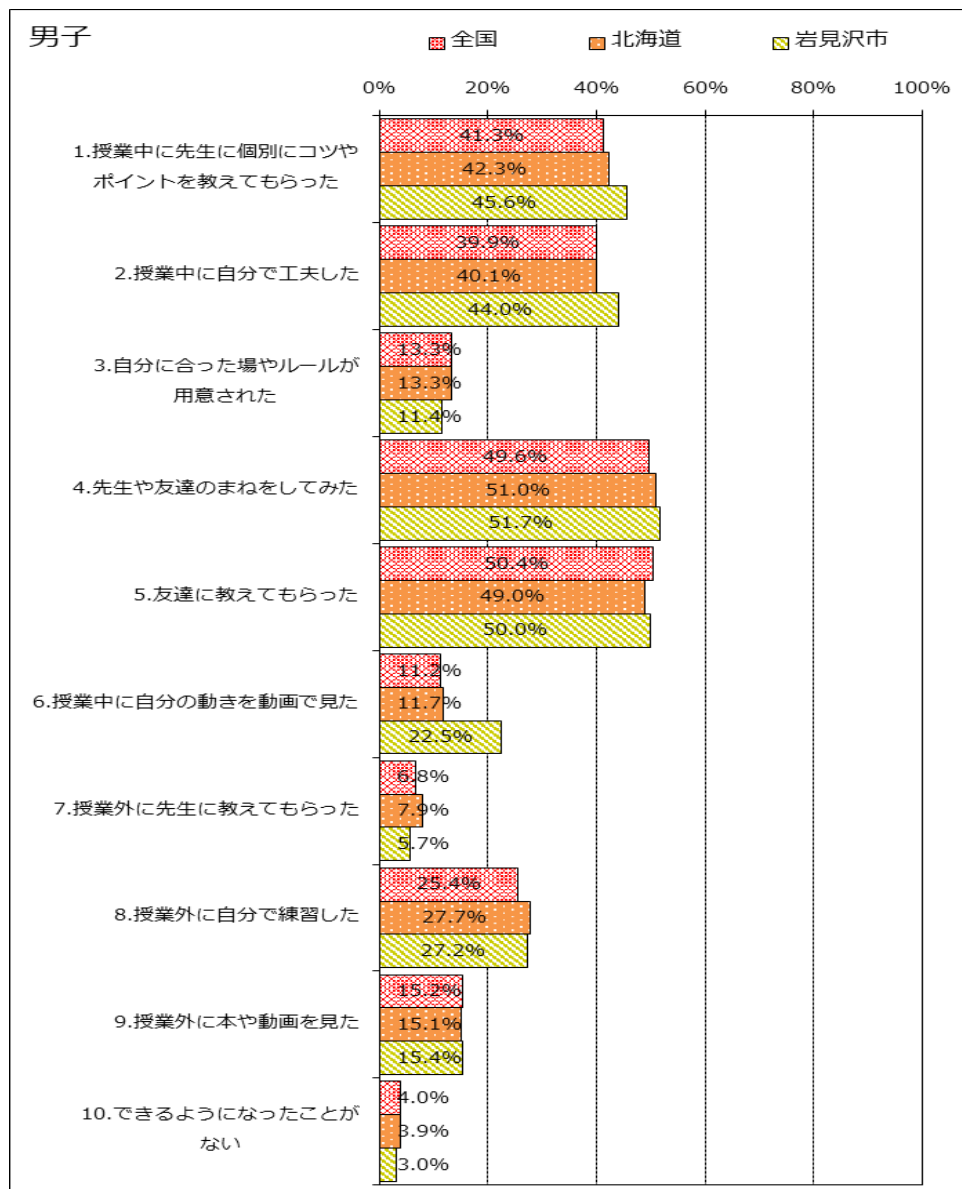


〈考察〉

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」・「だいたいある」と回答した岩見沢市の児童の割合は、全国と比べ、男子で25.9ポイント、女子で28.2ポイント上回っている。

体育の授業でタブレットなどのICT機器が有効に活用されていると言える。

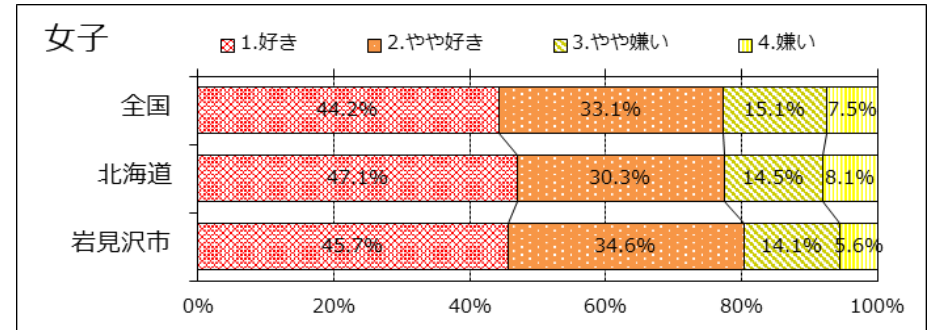
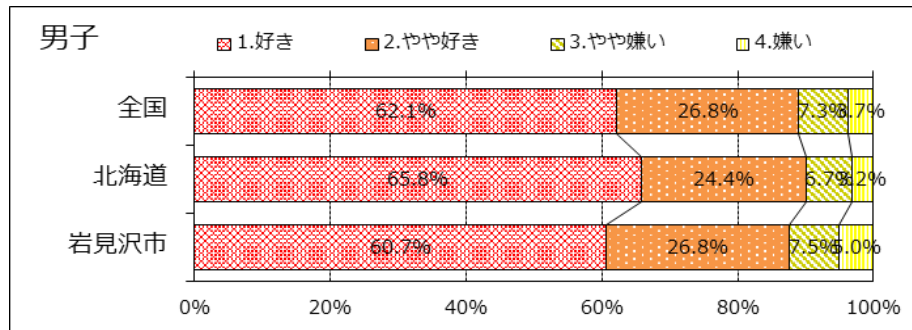
質問16 これまでの体育の授業で、「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。



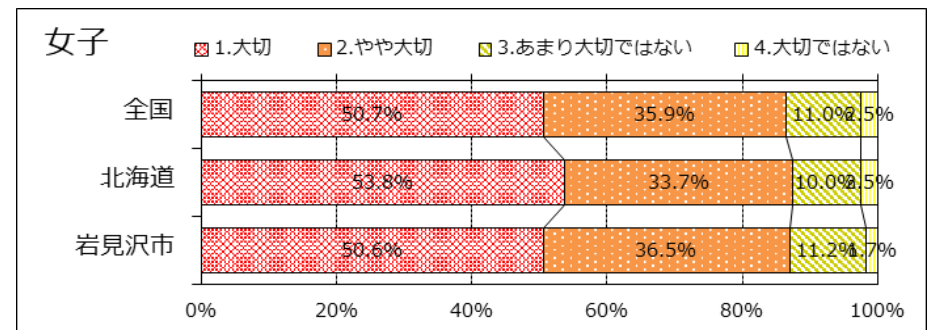
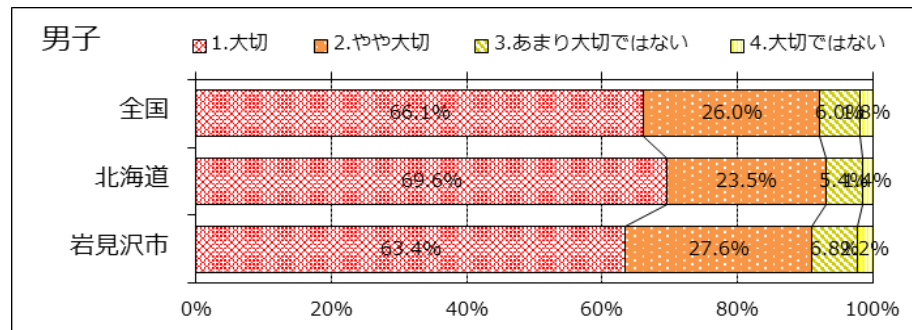
【中学校】

質問1 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

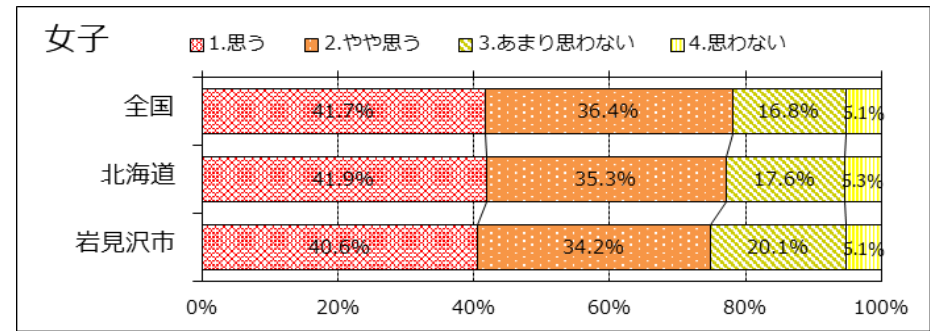
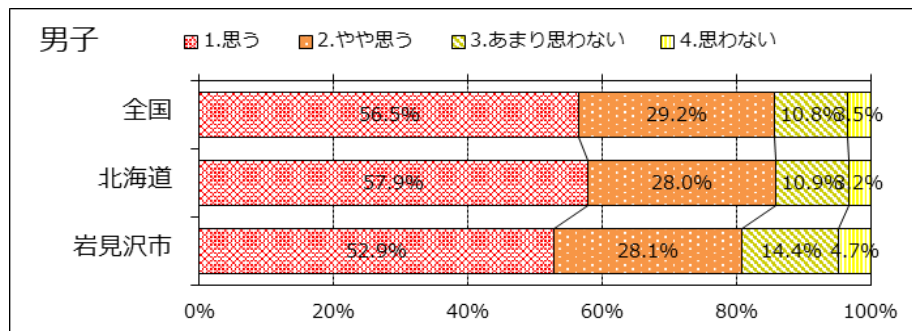
(*グラフは数値の3%前後のものについては表示しない。基本的には男子は左側、女子は右側に表示する。)



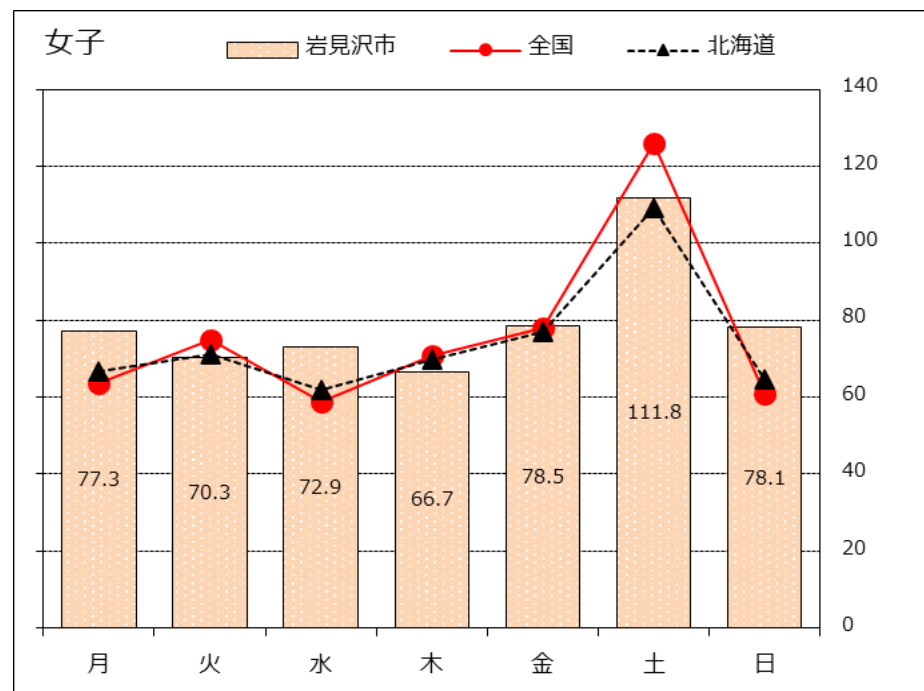
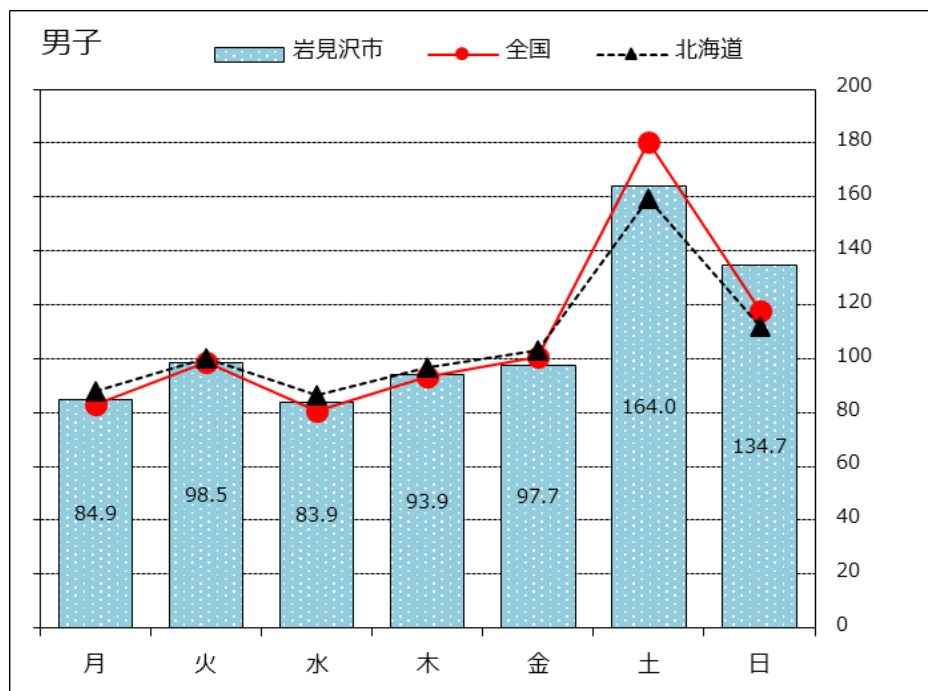
質問2 あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



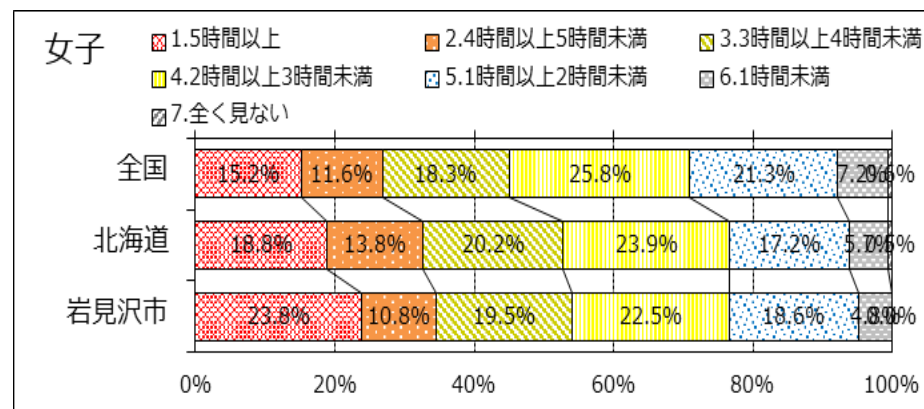
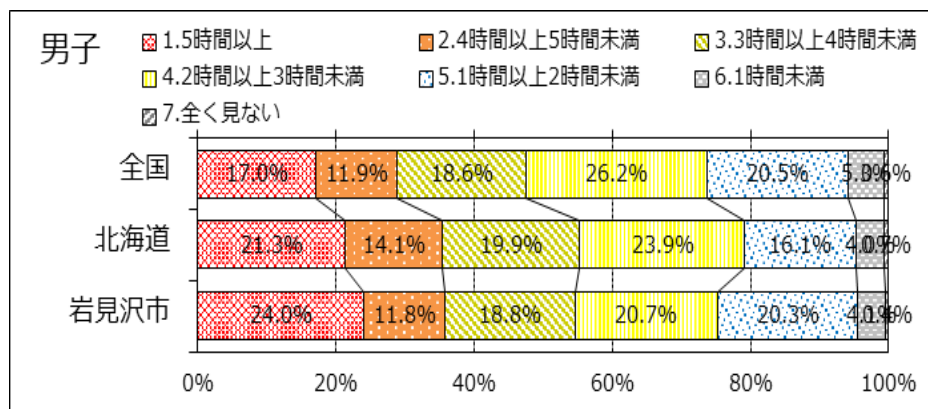
質問3 中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



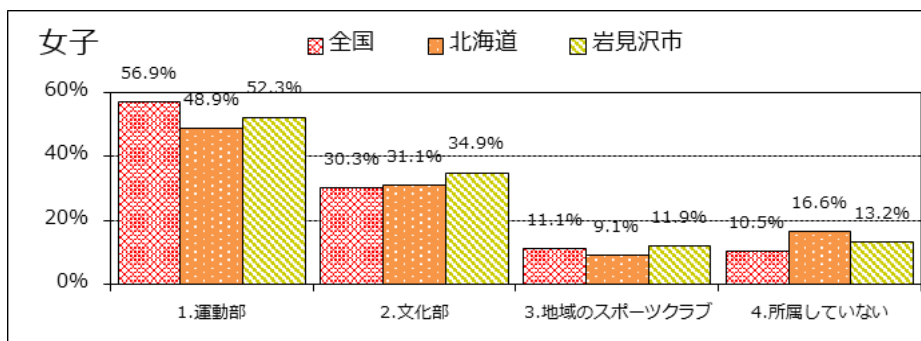
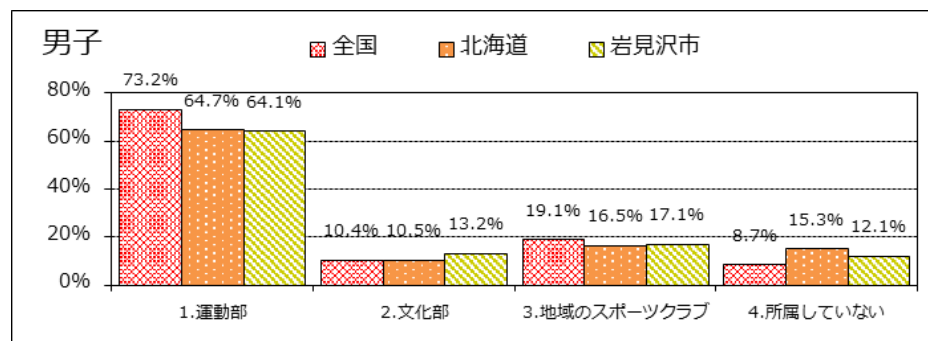
質問5 普段の1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか。



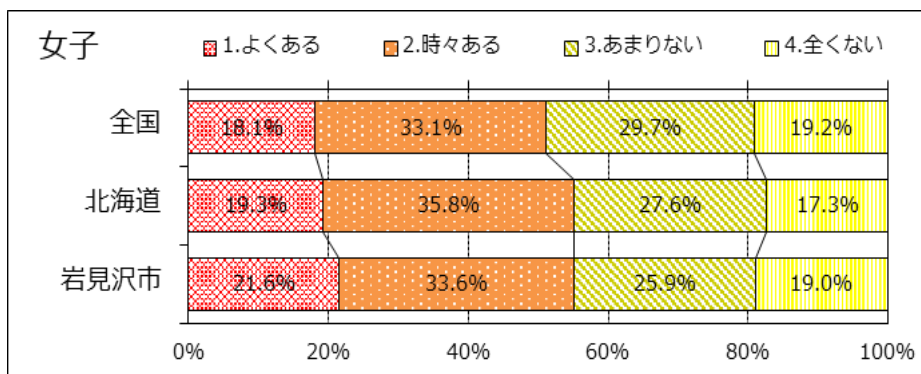
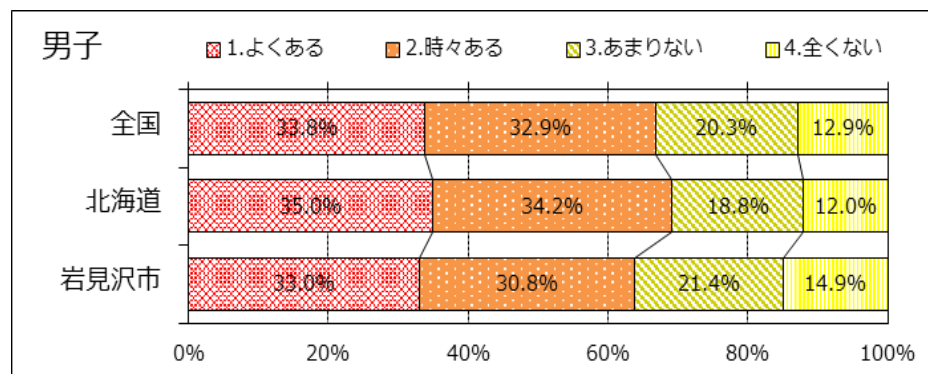
質問8 平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



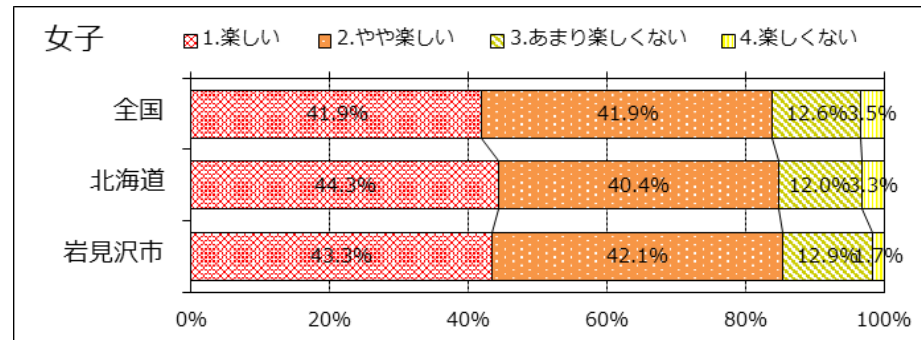
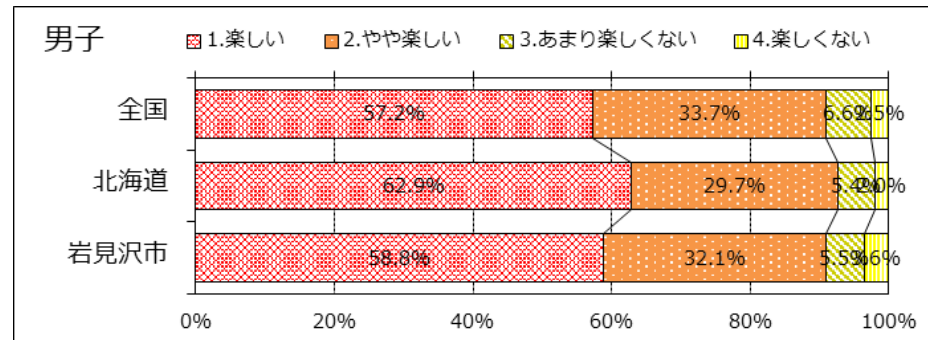
質問4 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。



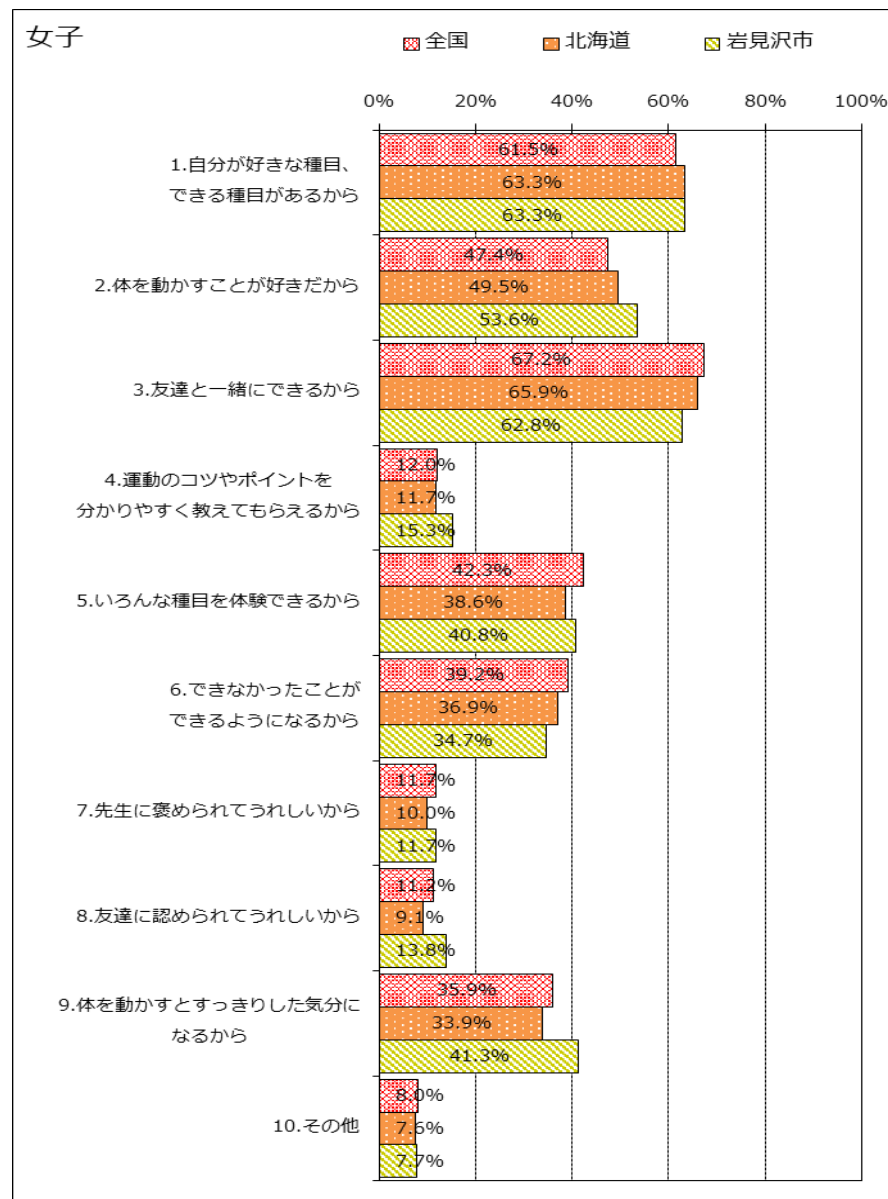
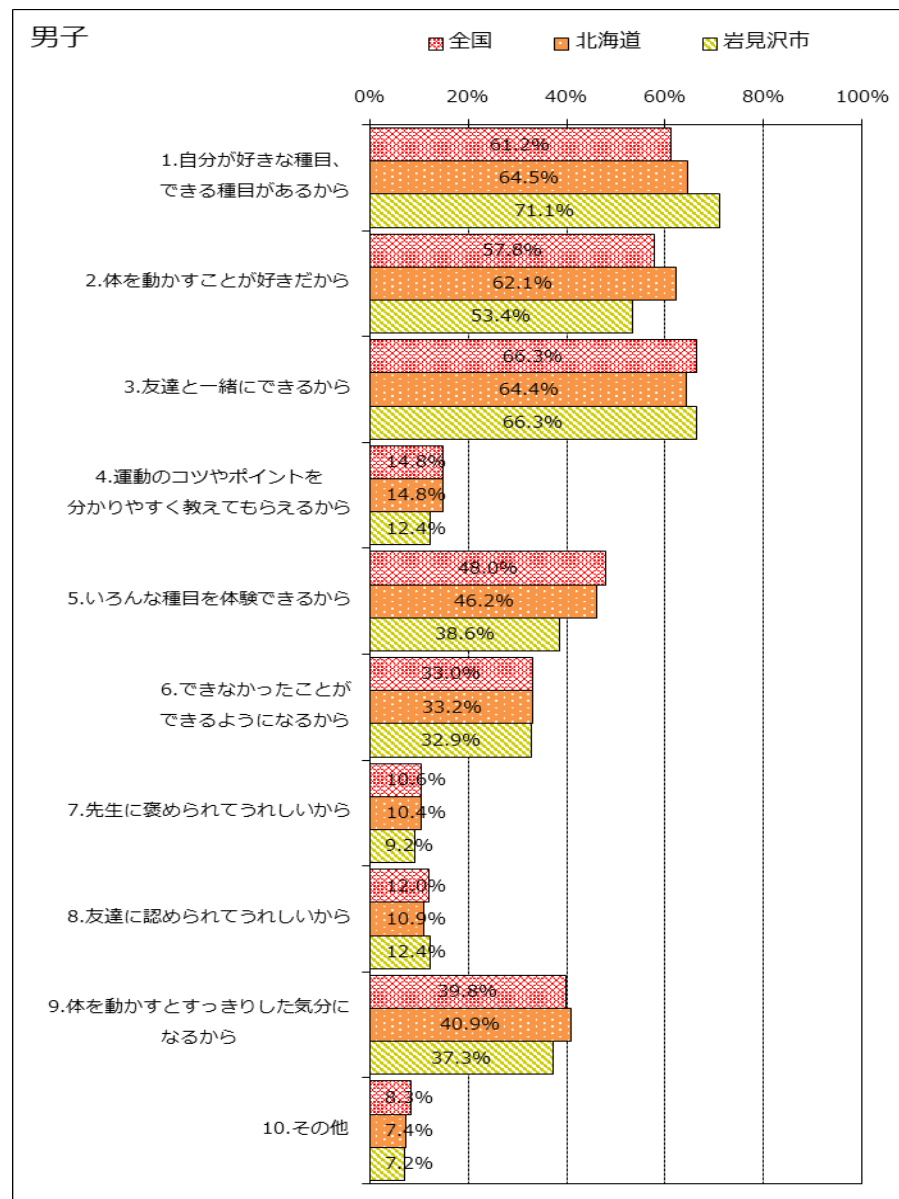
問9 放課後や学校が休みの日に、部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがありますか。



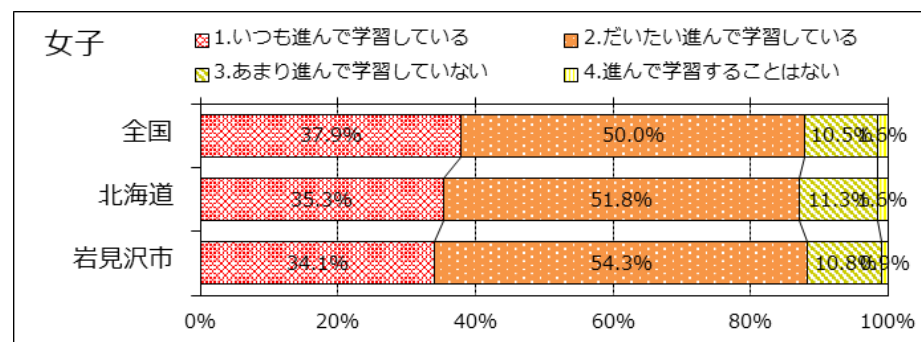
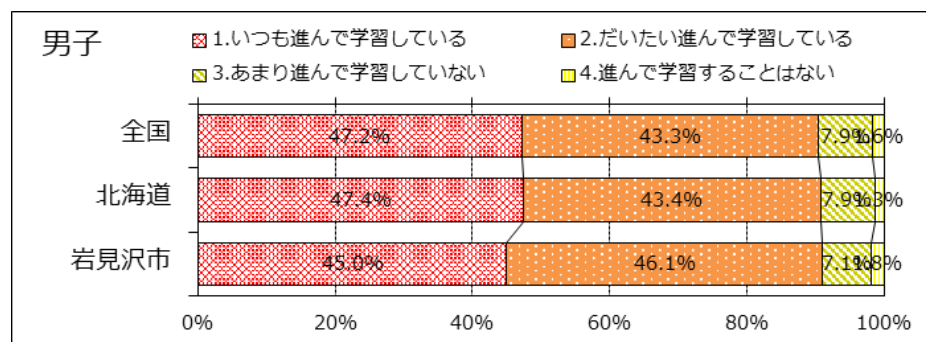
質問10 保健体育の授業は楽しいですか。



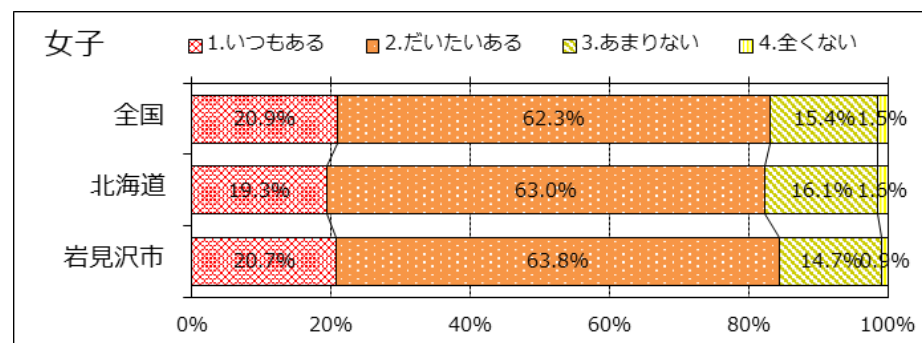
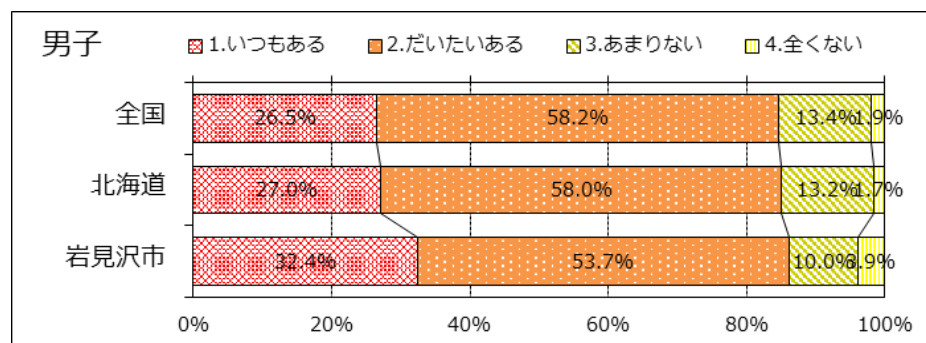
質問10-2 (質問10で「楽しい」または「やや楽しい」と回答した人) そのように思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。



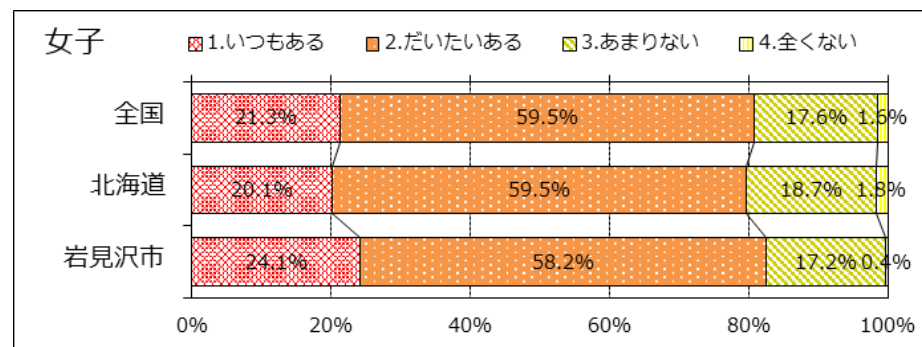
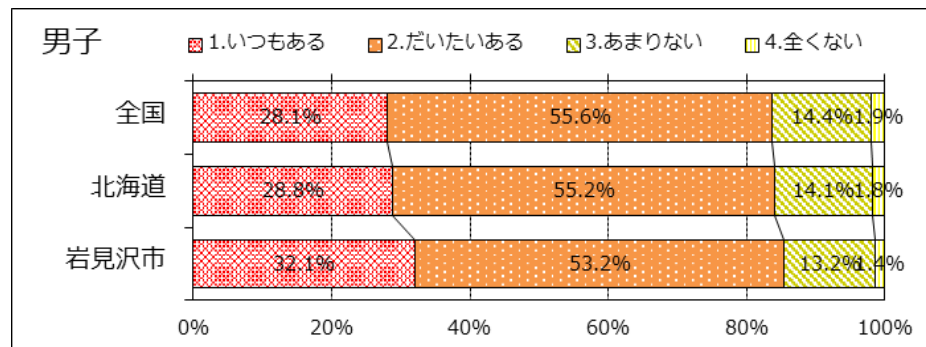
質問11 保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



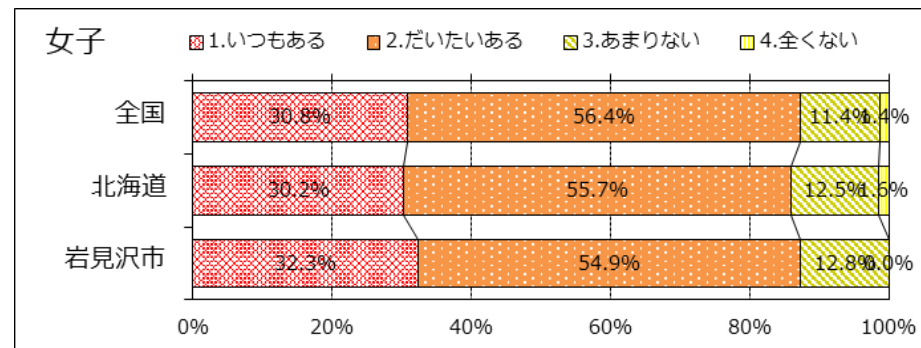
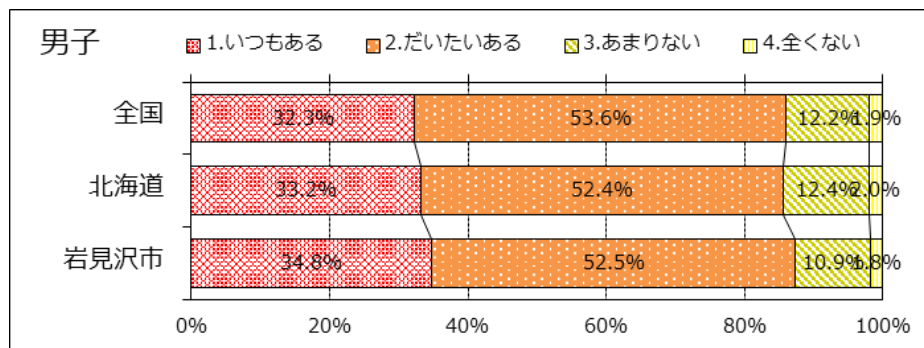
質問12 保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



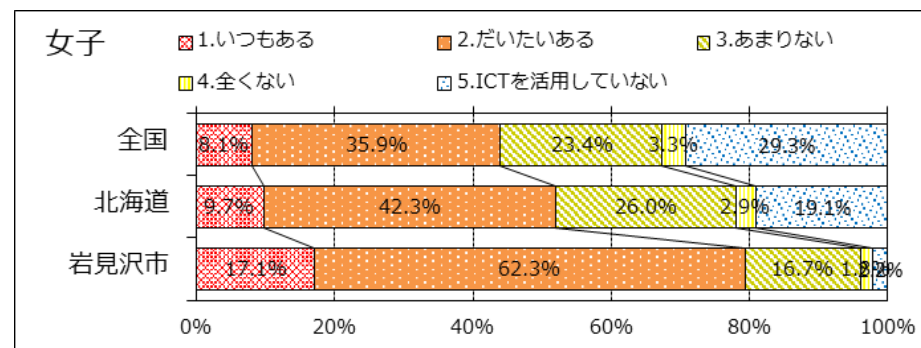
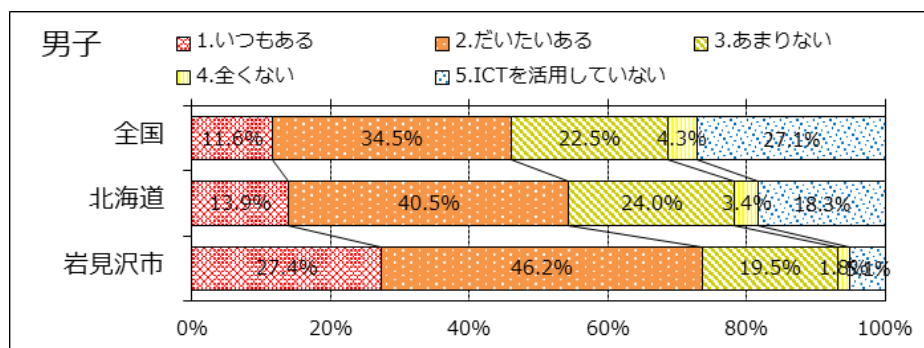
質問13 保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問14 保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



質問15 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

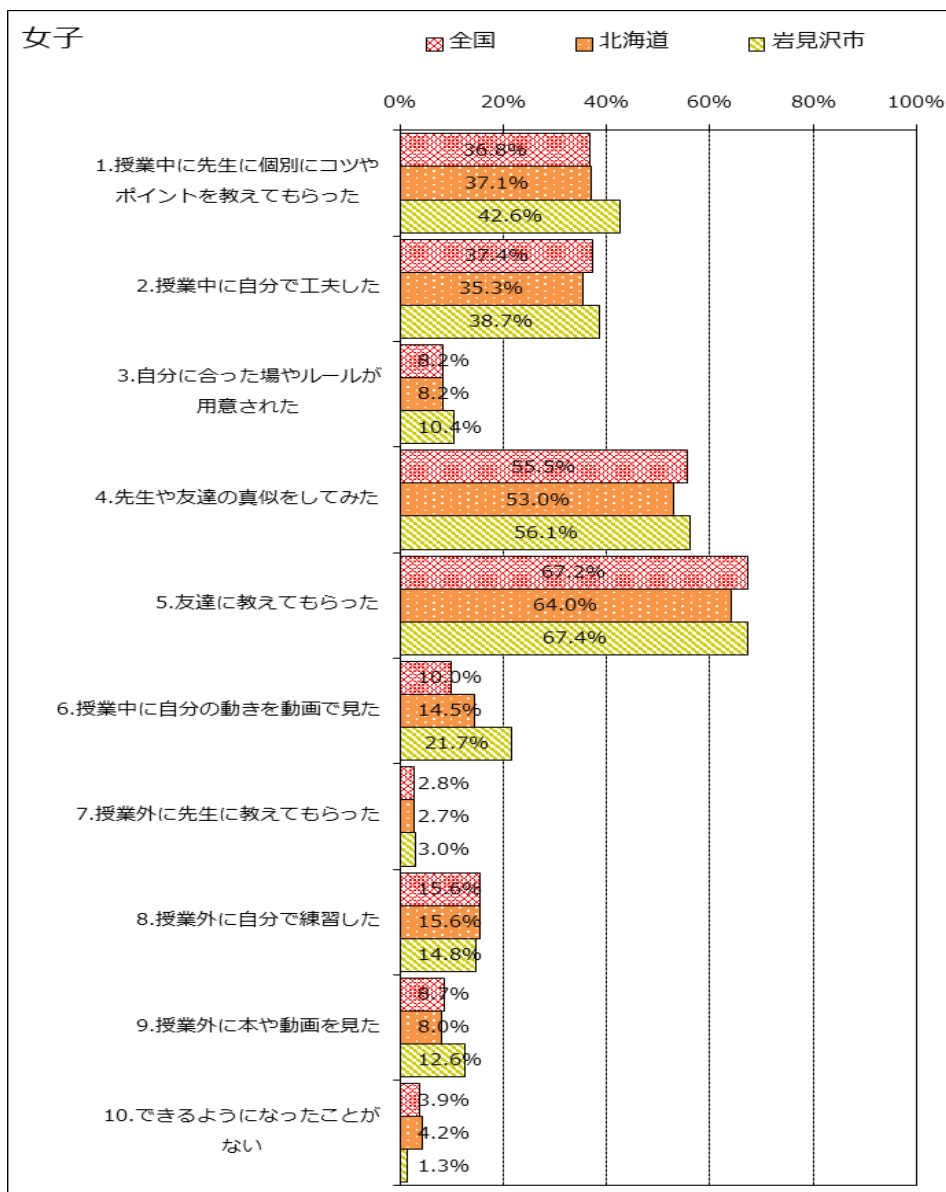
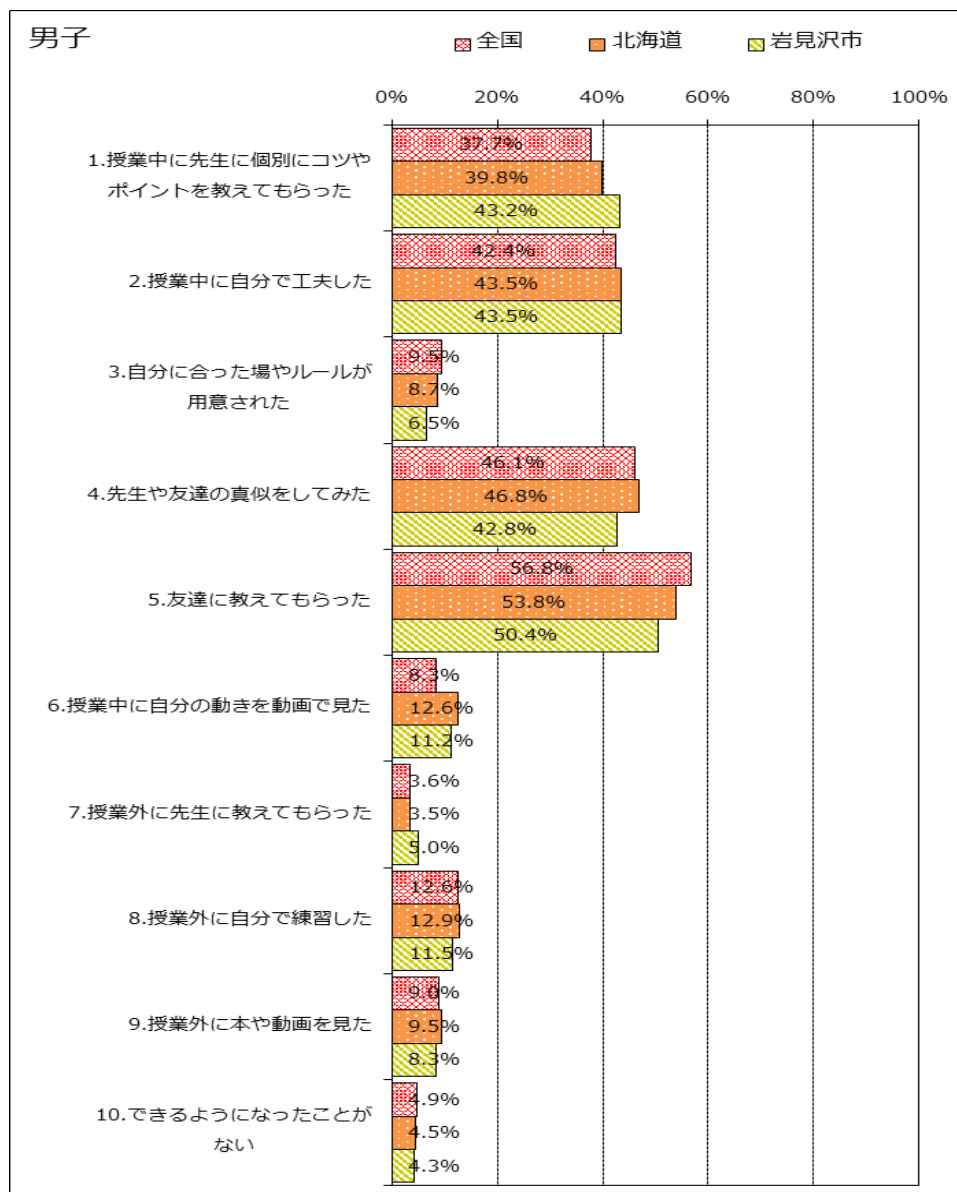


〈考察〉

保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」・「だいたいある」と回答した岩見沢市の生徒の割合は、全国と比べ、男子で27.5ポイント、女子で35.4ポイント上回っている。

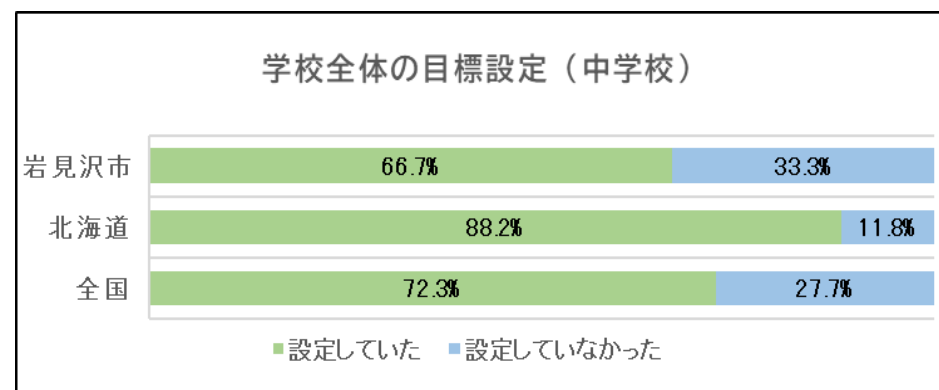
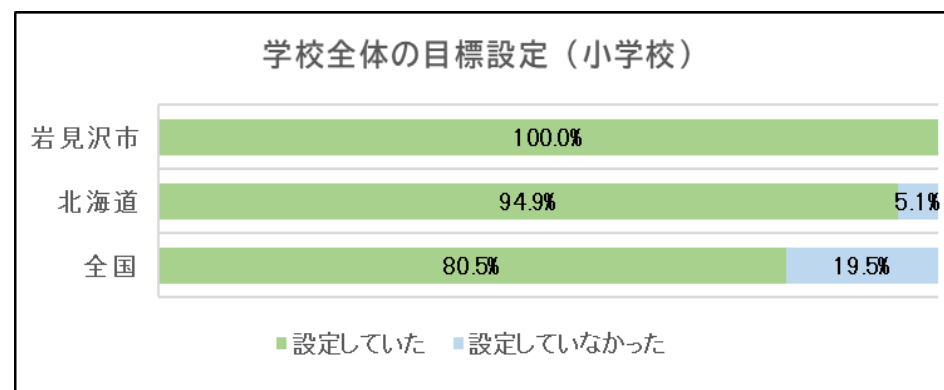
保健体育の授業でタブレットなどのICT機器が有効に活用されていると言える。

質問16 これまでの保健体育の授業で、「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。



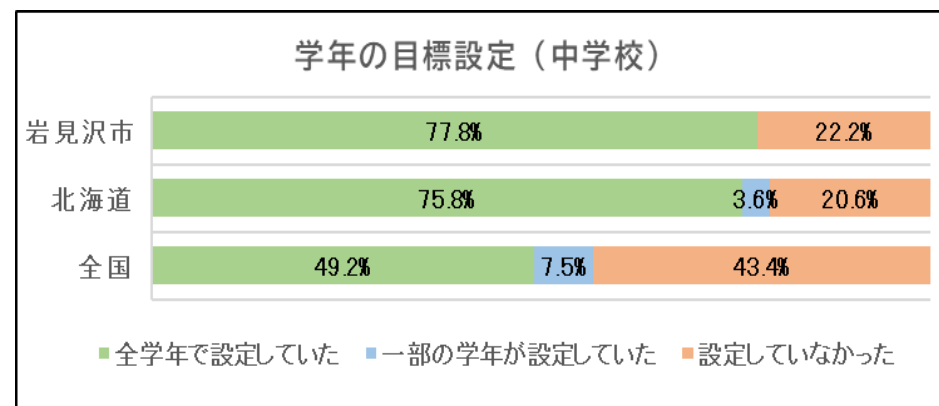
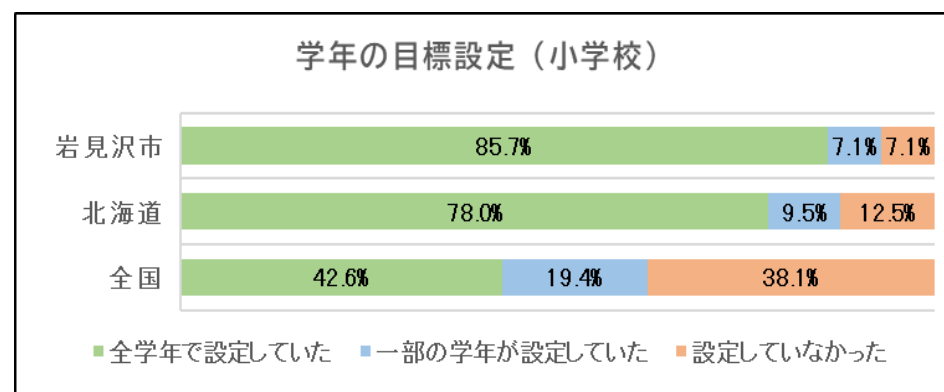
6 学校質問紙の調査結果

質問1 令和3年度に、児童／生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。



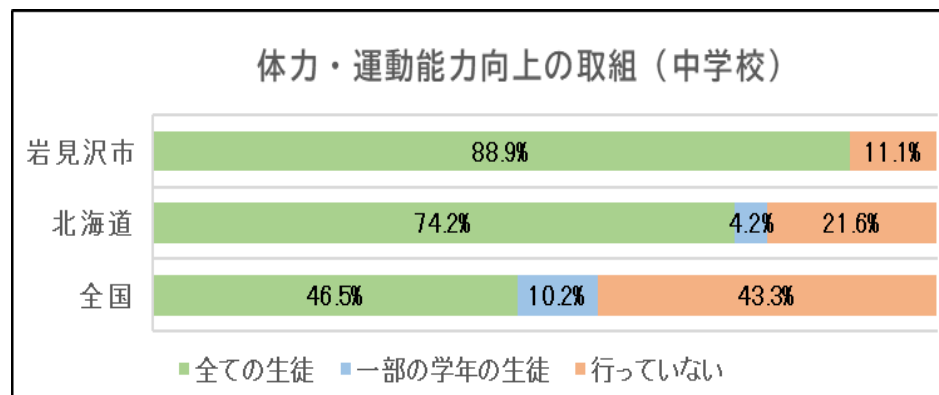
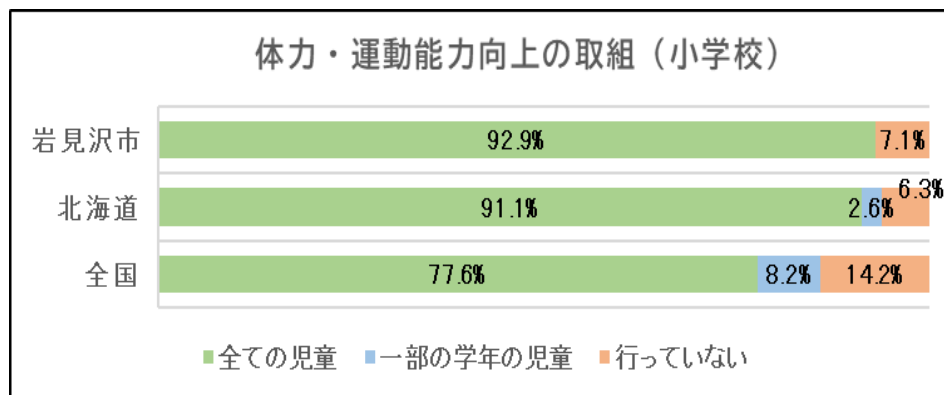
（考察）学校全体の目標設定は、小学校は100%で、中学校は66.7%であった。中学校は学校全体としての目標を全ての学校で設定する必要がある。

質問2 令和3年度に、児童／生徒の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。

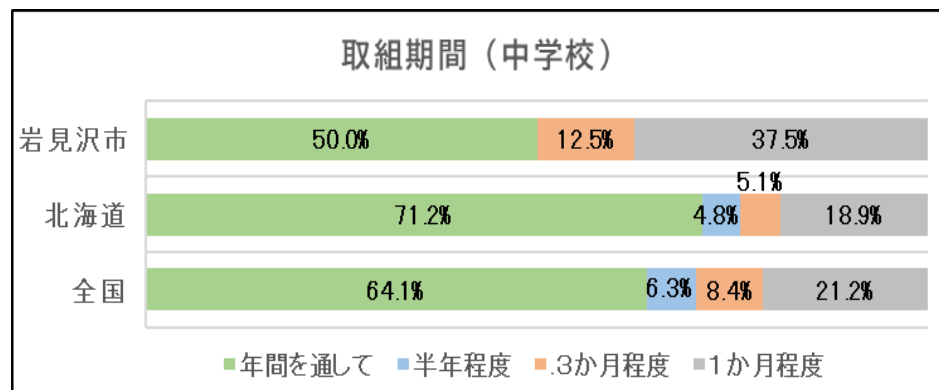
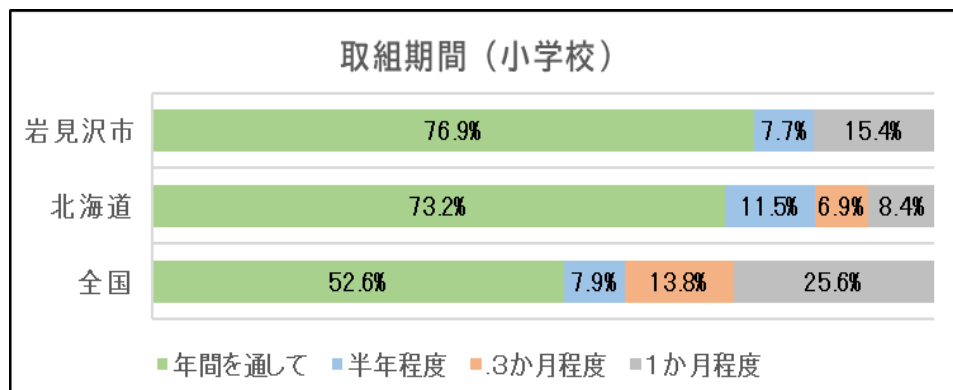


（考察）全学年で目標を設定している学校の割合は、全国と比べ小学校は43.1ポイント、中学校は28.6ポイント上回っている。

質問3 令和3年度に、体育授業以外で、全ての児童／生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。

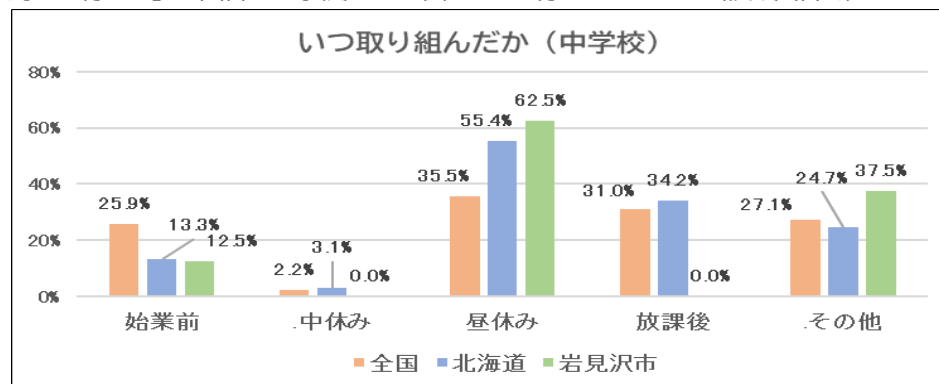
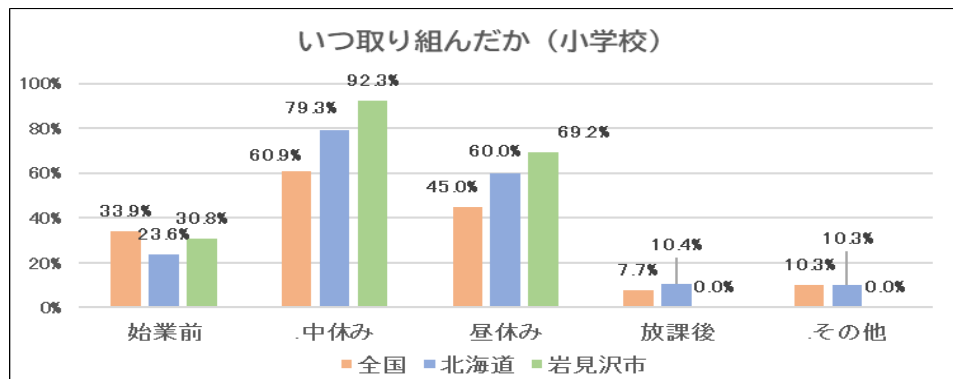


質問3-2 （質問3で「全ての児童／生徒に対して行った」または「一部の児童／生徒に対して行った」と回答した学校）その取組はどのくらいの期間行いましたか。

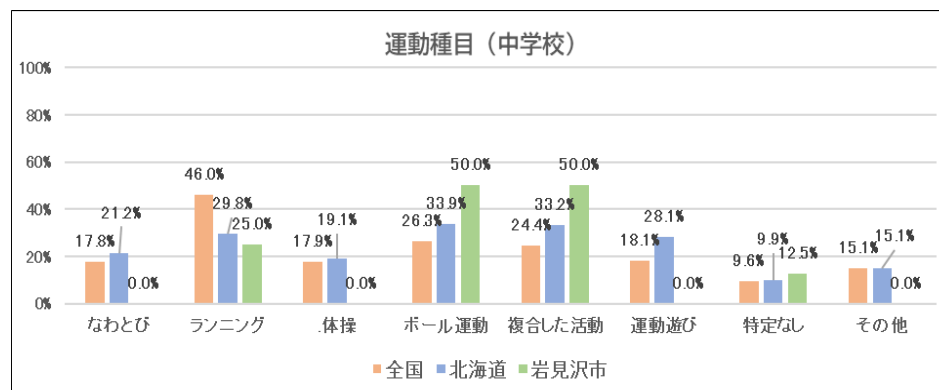
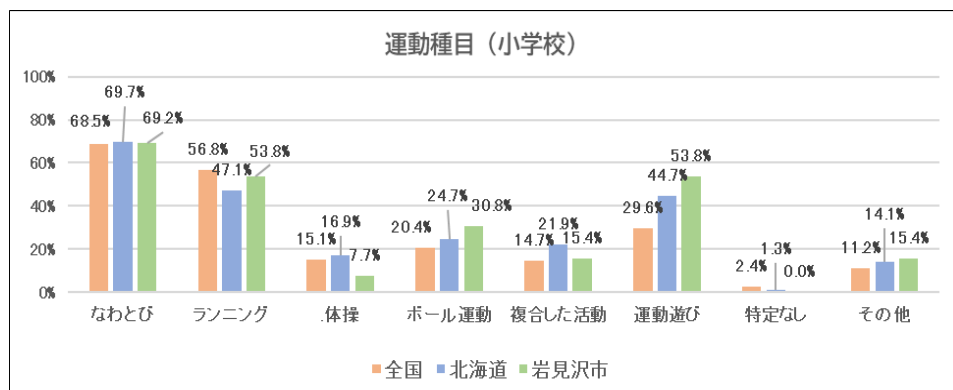


（考察）体力・運動能力向上の取組を行っている学校の割合は、全国と比べ小・中学校共にともに上回っている。年間を通した取組の割合は、全国と比べ小学校は上回っているが、中学校は下回っている。

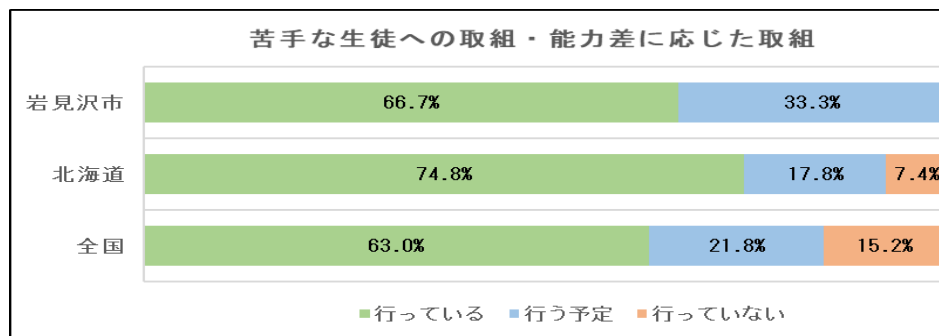
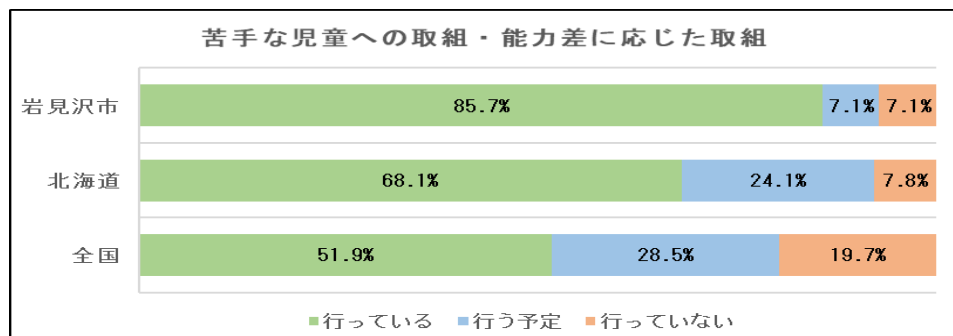
質問3-3 (質問3で「全ての児童/生徒に対して行った」または「一部の児童/生徒に対して行った」と回答した学校) その取組をいつ行いましたか。(複数回答可)



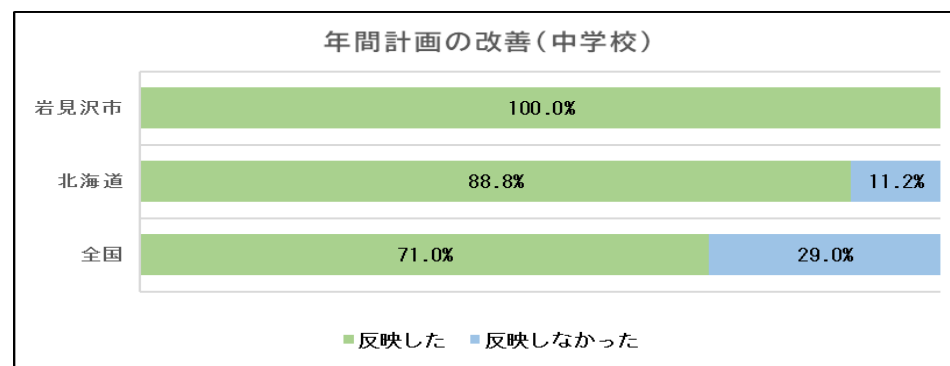
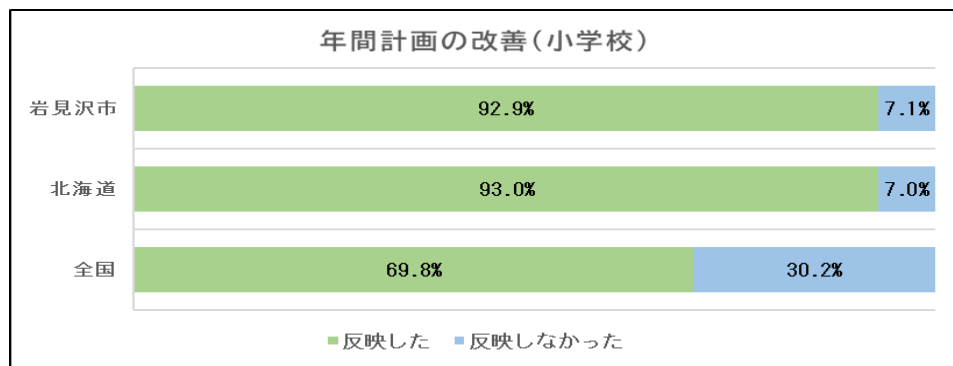
質問3-4 質問3で「全ての児童/生徒に対して行った」または「一部の児童/生徒に対して行った」と回答した学校) どのような活動を行いましたか。(複数回答可)



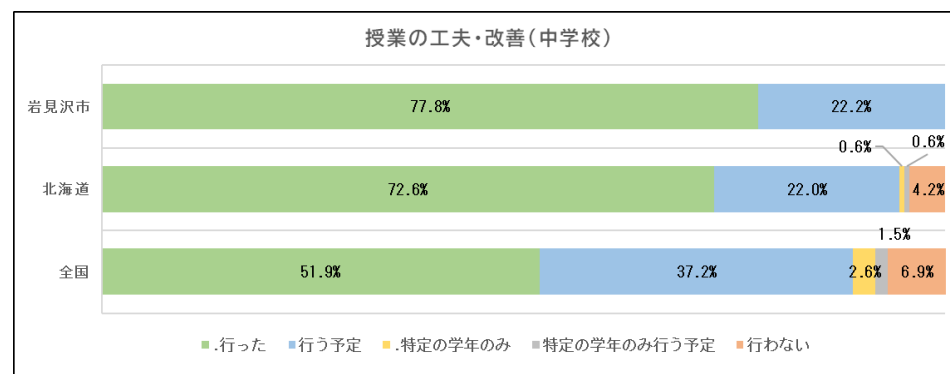
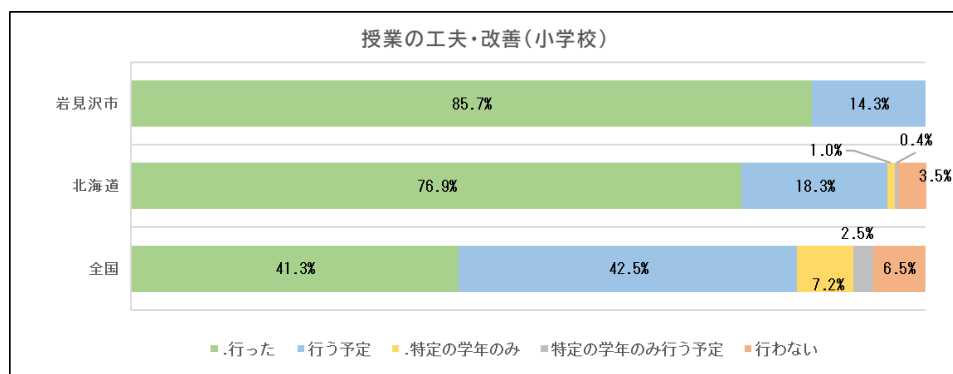
質問5 運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童/生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っていますか。



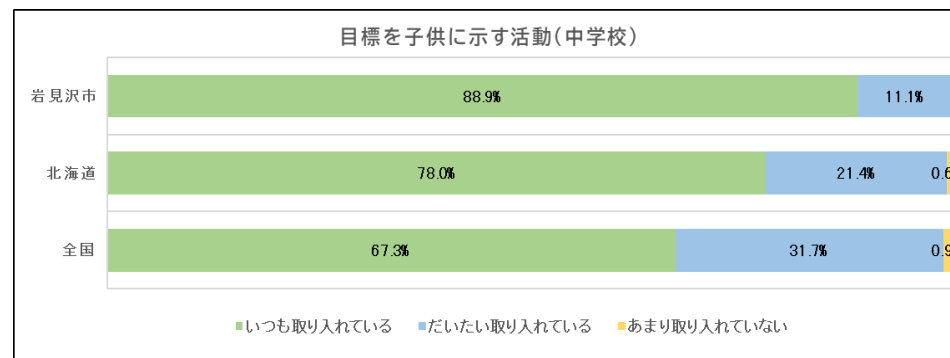
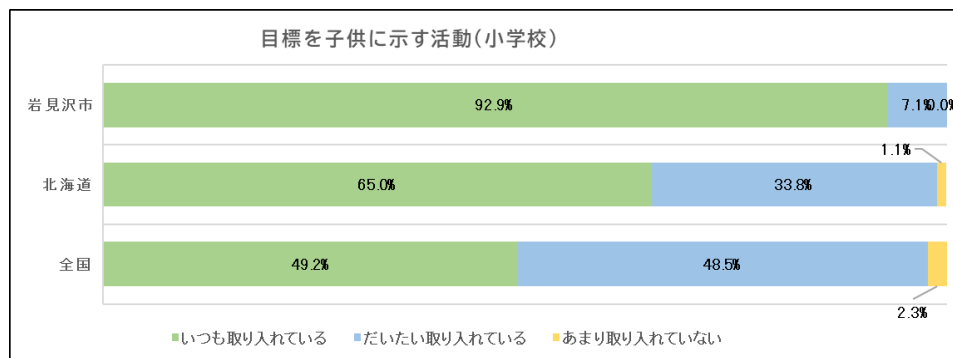
質問6 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。



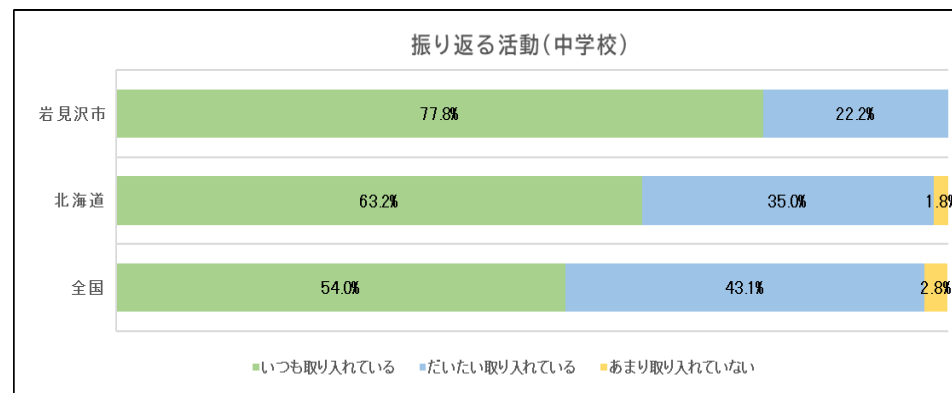
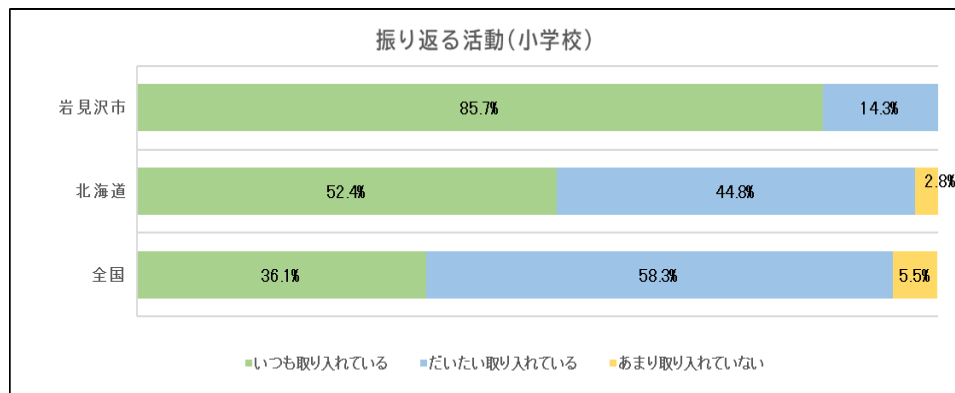
質問7 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。



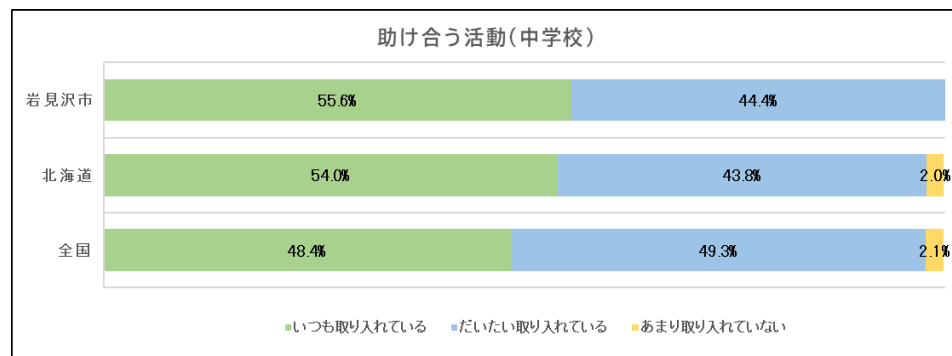
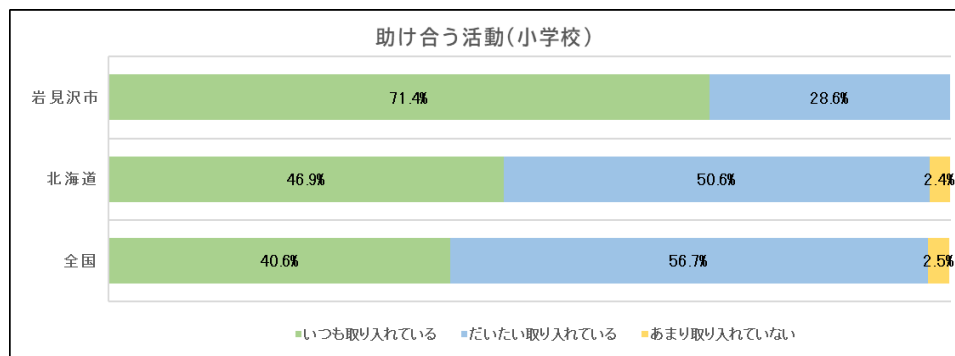
質問8 体育・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童/生徒に示す活動を取り入れていますか。



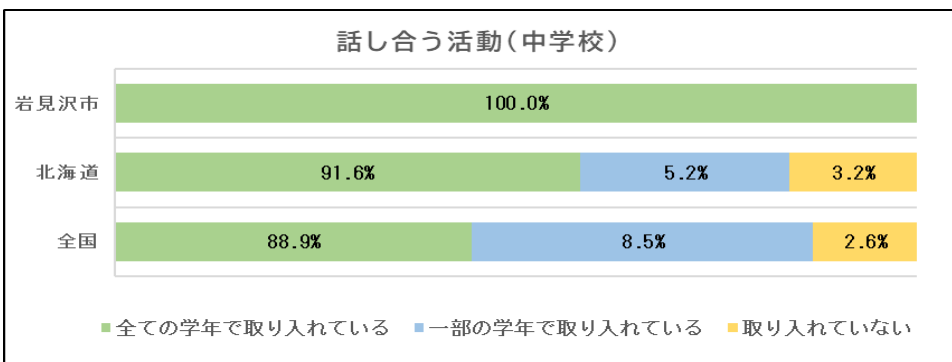
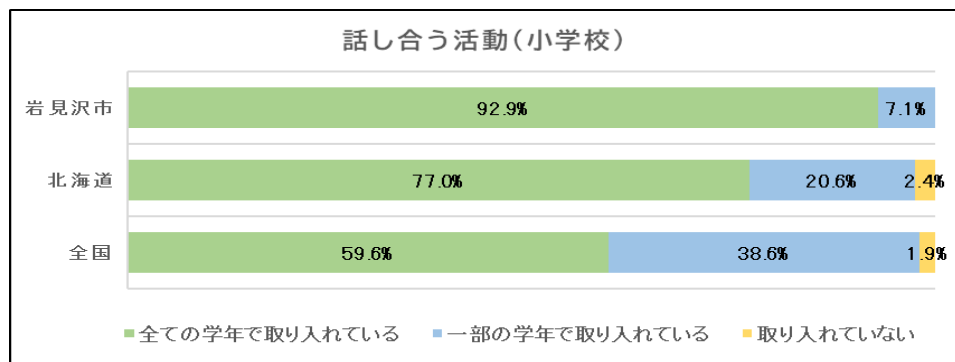
質問9 体育／保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。



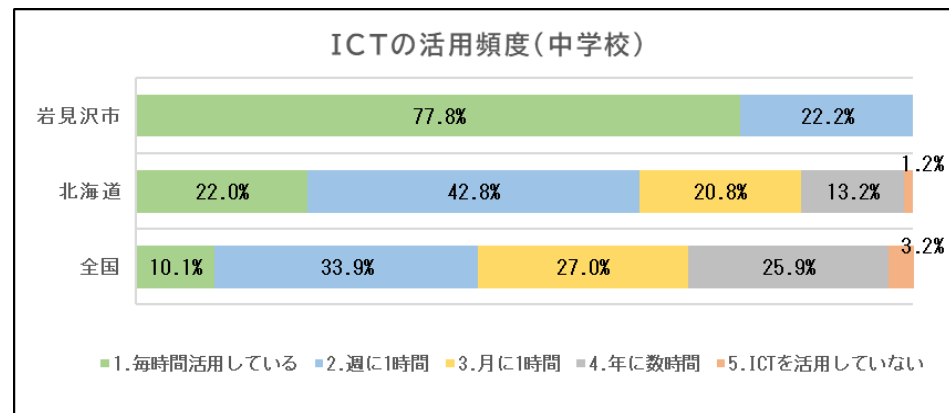
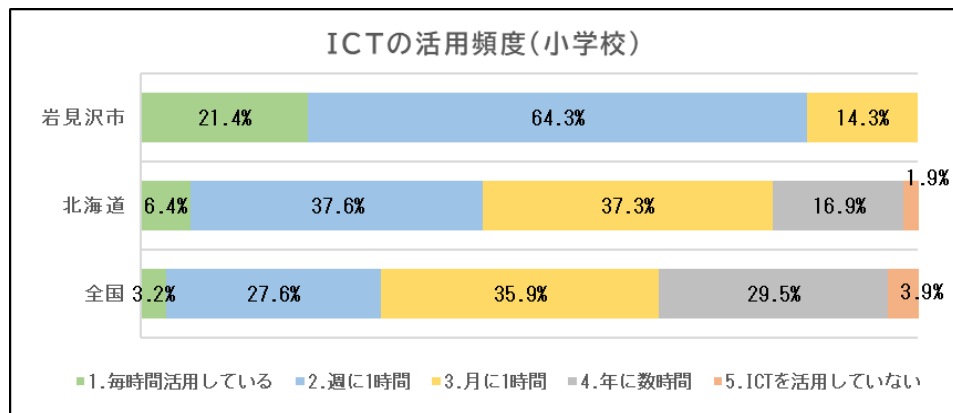
質問10 体育／保健体育の授業では、児童／生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。



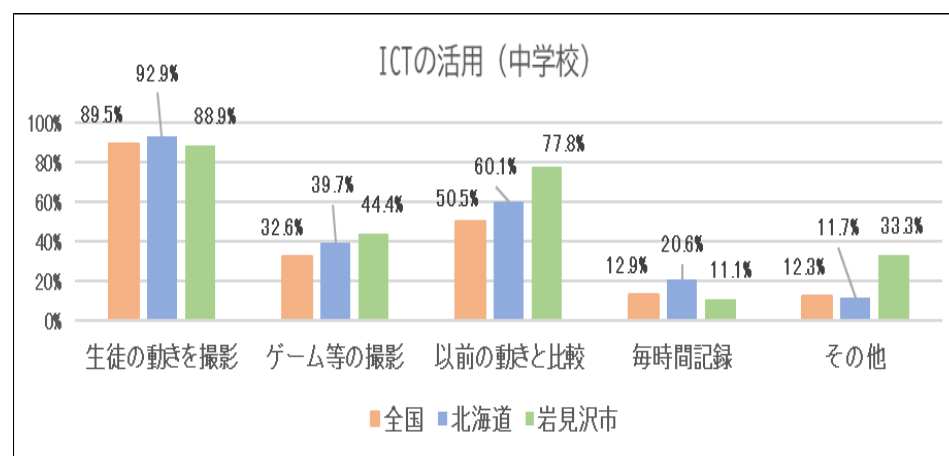
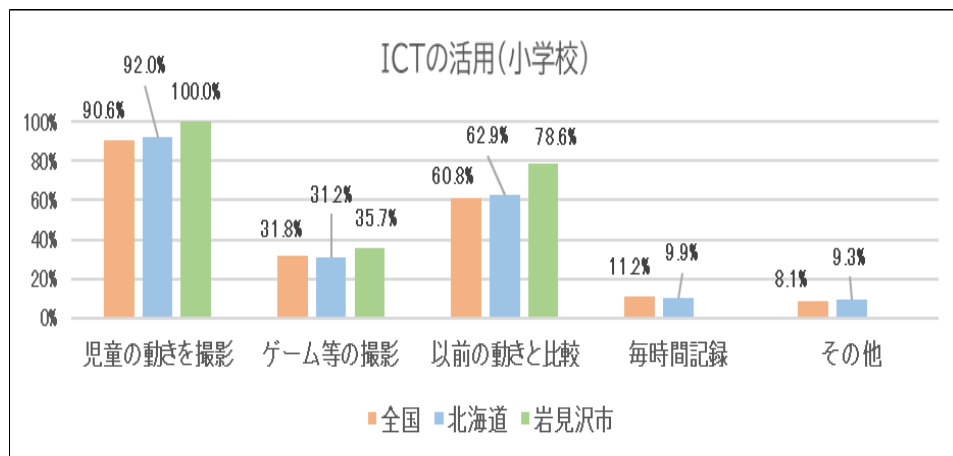
質問11 体育／保健体育の授業では、児童／生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。



質問12 体育／保健体育の授業中におけるICTの活用についてどのくらいの頻度で活用していますか。



質問12-2 体育／保健体育の授業中でICTを活用している場合、どのように活用していますか。(複数回答可)



(考察) ICTの活用について、全国と比べ、大幅に上回っている。特に、中学校においては毎時間活用している学校が約8割である。活用の仕方としては、児童生徒の動きを撮影したり、以前の動きと比較したりする場合に活用することが多い。

Ⅲ 調査結果から

1 体力・運動能力等調査の全体的な傾向（岩見沢市）

〈小学校〉

<p>(1) 体力合計点及びT得点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・全国平均よりやや高い ・女子・・・全国平均と同程度
<p>(2) 全国平均を上回った種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は8種目中4種目 （握力、反復横とび、20mシャトルラン、ソフトボール投げ） ・女子は8種目中5種目 （握力、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ）
<p>(3) 全国平均をかなり下回った種目（T得点で3ポイント程度低い）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに50m走
<p>(4) 1週間の運動時間（体育の授業を除く）420分以上の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・全国平均を上回った （令和3年度と比べ増加したが、平成31（令和元）年度の水準には戻っていない） ・女子・・・全国平均を大きく上回った （令和3年度と比べ増加しており、平成31（令和元）年度と比べても上昇した）
<p>(5) 体格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・身長は全国平均をやや下回り、体重はやや上回った ・女子・・・身長、体重ともに全国平均をやや上回った
<p>(6) 肥満傾向児の出現率 軽度肥満から高度肥満までの出現率は男女ともに全国より高い</p>

〈中学校〉

<p>(1) 体力合計点及びT得点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・全国平均よりやや低い ・女子・・・全国平均より低い
<p>(2) 全国平均を上回った種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は9種目中2種目 （立ち幅跳び、ハンドボール投げ） ・女子は9種目中2種目 （持久走、ハンドボール投げ）
<p>(3) 全国よりかなり下回った種目（T得点で3ポイント程度低い）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・持久走、20mシャトルラン、50m走 ・女子・・・握力、上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン
<p>(4) 1週間の運動時間（体育の授業を除く）420分以上の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子・・・全国平均を下回った （令和3年度と比べ増加したが、平成31（令和元）年度の水準には戻っていない） ・女子・・・全国平均を下回った （令和3年度と比べ増加しており、平成31（令和元）年度と比べても上昇した）
<p>(5) 体格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに身長、体重は全国平均を上回った
<p>(6) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 軽度肥満から高度肥満までの出現率とやせの出現率は男女ともに全国より高い</p>

2 児童生徒質問紙の特徴的な事項 (岩見沢市)

〈小学校〉

- (1) 「**運動やスポーツをすることは好き**」と回答した児童の割合は、男女ともに全国平均より**高い**。
- (2) 「学校の**運動部**や地域の**スポーツクラブ**への**加入状況**」は男女ともに全国平均より**低い**。また、加入状況の割合は男女で差があり、女子の未加入者は男子より15.2ポイント高い。
- (3) 「**運動やスポーツは大切だ**」と回答した児童の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (4) 「**中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい**」と回答した児童の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (5) 「**体育の授業は楽しい**」と回答した割合は、**男子**は全国平均より**高く**、**女子**は全国平均より**低い**。
- (6) 「**体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した児童の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (7) 「**体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した児童の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (8) 「**体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した児童の割合は、**男女ともに**全国平均より**かなり高い**。

〈中学校〉

- (1) 「**運動やスポーツをすることは好き**」と回答した生徒の割合は、**男子**は全国平均より**低く**、**女子**は全国平均より**高い**。
- (2) 「学校の**運動部**への**所属状況**」は、**男女ともに**全国平均より**低い**。また、「地域の**スポーツクラブ**への**所属状況**」は、**男子**は全国平均より**低く**、**女子**は全国平均より**高い**。
- (3) 「**運動やスポーツは大切だ**」と回答した生徒の割合は、**男子**は全国平均よりやや**低く**、**女子**は全国平均と**同程度**である。
- (4) 「**中学校卒業後、自主的に運動する時間を持ちたい**」と回答した生徒の割合は、**男女ともに**全国平均より**低い**。
- (5) 「**保健体育の授業は楽しい**」と回答した生徒の割合は、**男女ともに**全国平均より**やや高い**。
- (6) 「**保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した生徒の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (7) 「**保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した生徒の割合は、**男女ともに**全国平均より**高い**。
- (8) 「**保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習**することで、『**できたり、わかったり**』**することがある**」と回答した生徒の割合は、**男女ともに**全国平均より**かなり高い**。

3 調査結果を踏まえた各学校が取り組むべき岩見沢市の5つの方策

(1) 運動の楽しさや喜びが味わえる体育（保健体育）の授業の実現

生涯にわたって、豊かで健康的な生活を送るためには、心身の健康がもっとも重要である。特に、急激な成長期にある小・中学校時代においては、体育の授業で体力を伸ばしたり、**好き（得意）な運動を見つけたりできる**ような取組を進める必要がある。

① 仲間と運動の楽しさや喜びを味わう授業

- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる学習活動を行う。

(学習活動例)

ペアで見合うハードル走（ハードル走をタブレットで撮影し、ペアでお互いのよさや改善点を話し合う学習活動）

② 「できないこと」を「できるようにする」体育の授業は児童生徒に苦痛や心理的なストレスを与えることが多いことから、**苦手克服型の指導から「児童生徒の好きなこと・できること」を伸ばす指導**へ指導観の転換を図り、児童生徒が楽しく取り組める授業を行う。

(学習活動例)

できるから始める跳び箱運動（跳び箱の段数を変えたり、横向きにしたり、マットを跳び箱に見立てたりするなどして、多様な場を用意し、児童生徒が自己の程度に応じ、できるところから選択して進められる学習活動）

③ 小学校低学年における体育では、「〇〇遊び」が多いことから、児童が喜ぶ遊びのストーリーを設定して、**児童と一緒に創りながら**、体を動かす楽しさや心地よさを体感させる。

(2) 自己の記録に挑戦し、**成長が実感できる新体力テストの実施**

小・中学校9年間を通じて、自己の記録に挑戦し、自己の成長が実感できるような新体力テストを実施し、児童生徒が意欲を持って主体的に運動に親しむ態度を養う必要がある。

① 新体力テストを全学年で実施し、実施に当たっては事前に児童生徒にその意義を伝える。

- ② 体力カードを活用し、児童生徒一人一人に自己の体力の変化を実感させるとともに、今年度の自己の目標を持たせる。
- ③ 結果を児童生徒に伝え、**経年変化に着目させたり**、全国平均と比べたりして、自己の体力の状況を把握させる。
- ④ 50m走、20mシャトルラン、持久走が全国と比べて低いことから、春と秋など年に複数回その種目の記録にチャレンジできるようにする。その際、「走・跳の運動」（50m程度のかけっこなど）を指導計画に配列したり、年間を通じて補強運動に5分間走を取り入れたりするなど、**走力を養う運動領域を計画的に位置付けるなどの工夫が考えられる。**
- ⑤ タブレットを活用し、50m走のフォームを動画にして修正点を考えたり、歩幅を広くするための股関節の柔軟運動や体幹を鍛えるための「仰向け4つ足動物歩き」等の補強運動を取り入れたりするなど、**児童生徒が考え創意工夫する活動を行った後、もう一度、その種目を測定し効果を検証する。**

(3) 児童生徒が遊びなどを通して**運動に親しむことのできる学校環境の整備**

- ① 体育館やグラウンドに50m走のスタートとゴールのラインを常設したり、反復横跳びのラインを引いたりして、**休み時間に児童生徒が気軽にチャレンジできる体力づくりの場の工夫を行う。**
- ② 体育館の壁に的当てゲームの的を常設したり、グラウンド一周の冒険コースや築山からの下りコースを含めたトリムコースを設置したりするなど、**児童生徒が遊びに向かう環境を整備する。**また、保護者などの協力を得て、竹馬やケンパ、ゴム跳びなど昔遊びの紹介なども積極的に行う。
- ③ 小学校においては、中休みや昼休みは教師も一緒に遊びに加わり、**楽しみながら運動に親しむ児童を育む。**

(4) 外部の専門家等と連携した**出前授業等の実施**による教員の指導力の向上

- ① 教育大学等の出前授業などを積極的に活用し、専門的な指導に触れるとともに、児童生徒にその運動種目の楽しさを体験させる。
- ② 小学校においては、中学校保健体育教員の協力を得た出前授業などを年に数回実施し、教員の体育指導の研修も併せて実施する。

(5) **家庭や地域と連携した運動やスポーツの奨励と運動習慣の形成**

- ① PTA活動や保護者会など、あらゆる機会や学校だより等を活用し、自校の体力の状況を周知するとともに、家庭と連携して児童生徒に運動やスポーツを積極的に行うよう継続的に働きかける
- ② 児童生徒に各種スポーツ大会やスポーツ教室等の紹介を行うとともに、積極的な参加を奨励する。